

白山国立公園利用調査報告書

1997 年 4 月

石川県白山自然保護センター

はじめに

白山は原生自然がよく残されていることで知られています。白山の山頂付近には、石川県の郷土の花であるクロユリをはじめとした高山植物やイワヒバリやカヤクグリなどの鳥類、オコジョなどのほ乳類が高山帯というきびしい環境の中で生育、生息しています。一方、山麓にはブナの原生林が広がり、そこにはニホンカモシカ、ニホンザル、ツキノワグマといった大型ほ乳類やイヌワシなどの鳥類、その他多くの昆虫類のすみかとなるなど、生物の多様性に富んだ地域となっています。

近年のアウトドアブームにより、登山やキャンプ、自然観察会への参加など、白山の自然を楽しむ人が増える一方、そこに生育、生息する動植物の保護の重要性が高まり、関心も高まってきました。

白山国立公園利用アンケートは、県民総ナチュラリスト事業の一環として、白山国立公園利用者の自然解説（ガイド）についての意見と夏山の宿泊予約制についての意見を聞くために行いました。自然解説についての結果は、白山国立公園の利用者がどのような自然体検・学習を求めているのか。そして、どのような自然解説を行っていけばいいのかを検討するための資料とします。一方、夏山の宿泊予約制についての結果は、平成9年以降、より良い予約制度とするための検討資料とします。

アンケートにご回答下さった方々、アンケートの実施にご協力いただいた白山室堂及び南竜山荘の職員の方々に御礼申し上げます。

目次

1. アンケートの実施方法	1
2. アンケートの回答者について	1
(1) 記入日	1
(2) 記入場所	2
(3) 記入者の性別	2
(4) 記入者の年齢層	3
(5) 記入者の住所	4
(6) 人数構成	5
(7) グループ構成	7
3. 利用目的	8
(1) 市ノ瀬の利用目的	8
(2) 登山の目的	8
4. 登山経験	11
(1) 登山歴	11
(2) 白山登山回数	12
5. 利用期間	14
6. 自然解説（ガイド）について	16
(1) 自然解説（ガイド）希望内容	16
(2) 自然解説（ガイド）希望時間	19
(3) 自然解説（ガイド）料について	19
(4) 自然解説（ガイド）への要望	21
7. 夏山の宿泊予約制について	22
(1) 予約制の周知度	22
(2) 予約制の周知方法	23
(3) 予約制の周知時期	24
(4) 予約制の実施について	27
(5) 予約制に対してのアイデア、意見	28
8. 白山国立公園内の施設等への意見、希望	30
資料 白山国立公園利用アンケート調査票	33

1. アンケートの実施方法

白山国立公園利用アンケートは、市ノ瀬、別当出合、南竜ヶ馬場、白山室堂にアンケート用紙を置き、自己記入方式で、アンケート用紙の回収は回収箱により行った。アンケート実施時期は、公園利用者の多い平成8年6月下旬から11月上旬で、この期間中に回収されたアンケート用紙は2,264枚であった。

回収されたアンケート用紙をもとに、それぞれの項目について集計した。また、自然公園地域環境容量設定手法研究（昭和50～51年度実施）や白山国立公園の保護と利用に関する計画調査（昭和63年度実施）で行われたアンケート調査や室堂宿泊者のデータ（（財）白山観光協会調べ）など、同様なデータが得られる項目については比較を行い、白山登山者の動態の変化について明らかにした。

2. アンケートの回答者について

(1) 記入日

アンケートへの記入日を旬別に示すと表1のようになり、「8月中旬」が最も多く、35.7%、ついで「7月下旬」の22.5%となっていた。また、曜日別にみても表2のようになり、「土曜日」が最も多く21.8%、ついで「日曜日」の16.2%となっていた。

表1 記入時期別アンケート回答者数

	回答者数	%
6月下旬	1	0.0%
7月上旬	67	3.0%
7月中旬	106	4.7%
7月下旬	509	22.5%
8月上旬	398	17.6%
8月中旬	808	35.7%
8月下旬	204	9.0%
9月上旬	35	1.5%
9月中旬	62	2.7%
9月下旬	28	1.2%
10月上旬	10	0.4%
10月中旬	6	0.3%
10月下旬	6	0.3%
11月上旬	2	0.1%
無回答	22	1.0%
計	2,264	—

表2 曜日別アンケート回答者数

	回答者数	%
月	302	13.3%
火	288	12.7%
水	268	11.8%
木	209	9.2%
金	316	14.0%
土	493	21.8%
日	366	16.2%
無回答	22	1.0%
計	2,264	—

(2) 記入場所

アンケートの記入場所について、表3、図1に示した。アンケートへの記入は、半数以上が「室堂」(56.2%)で、ついで「別当出合」(26.9%)であった。

表3 アンケート記入場所

記入場所	回答者数	%
市ノ瀬	204	9.0%
別当出合	610	26.9%
南竜ヶ馬場	141	6.2%
室堂	1,273	56.2%
無回答など	36	1.6%
計	2,264	—

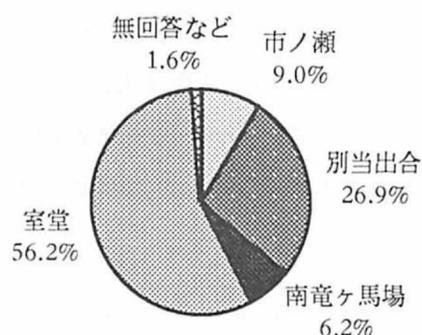


図1 記入場所

(3) 記入者の性別

アンケート記入者の性別について表4に示した。男性58.0%、女性41.7%（無回答など0.4%）で、男性の方が多い。本調査のデータと平成8年の室堂夏山の宿泊者のデータと比較すると、その値はほぼ同じであった（表5）。また、これを以前のデータ（昭和50年室堂宿泊者及び昭和62年室堂宿泊者）と比較すると、女性の比率が増加してきていることがわかる（表5）。

また、年齢別に男女比率（図2）をみてみると、全体的に男性の比率が高いが、特に「30歳～39歳」と「60歳～」で男性の割合が高くなっていることが分かる。また、男女それぞれ、年齢別構成についてみてみると、男女とも「40歳～49歳」の割合が高く（男女それぞれ25.9%、25.6%）、ついで「50歳～59歳」の割合が高い（男女それぞれ19.8%、23.4%）。

表4 アンケート記入者の性別

性別	回答者数	%
男	1,312	58.0%
女	943	41.7%
無回答など	9	0.4%
計	2,264	—

表5 性別（以前のデータとの比較）

調査年度	男 (%)	女 (%)
昭和50年室堂宿泊者	68.8%	31.2%
昭和62年室堂宿泊者	61.7%	38.3%
平成8年室堂宿泊者	56.3%	43.7%
本調査	58.2%	41.8%

注 本調査は比較のため「無回答」を除いて計算した。

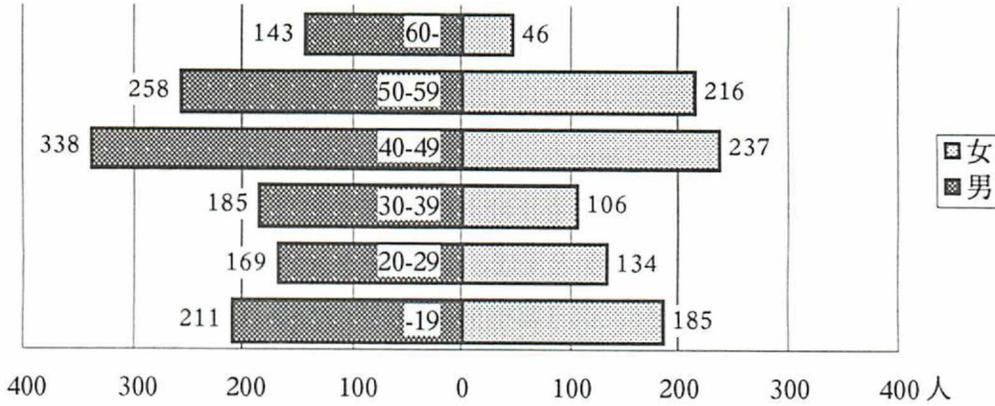


図2 男女別年齢構成

(4) 記入者の年齢層

アンケート記入者の年齢層を表6に示した。また、これを以前のデータ（昭和50年及び昭和62年）と比較すると、大きく変化したのは「20歳～29歳」、「30歳～39歳」及び「50歳～59歳」である（表7）。すなわち、「20歳～29歳」は昭和50年に51.7%であったのが昭和62年に17.8%、本調査でも13.6%と減少している。「30歳～39歳」は昭和50年に16.4%、昭和62年に28.2%と、いったん増加したのが、本調査では12.9%と減少している。一方、「50歳～59歳」では昭和50年に2.7%、昭和62年に9.0%、本調査では21.0%と大幅に増加している。また、「60歳～69歳」でも昭和50年に0.9%、昭和62年に2.6%、本調査では7.6%と増加しており、中高年層の割合が増加している。

表6 アンケート記入者の年齢層

年齢区分	回答者数	%
-9	44	1.9%
10-19	354	15.6%
20-29	304	13.4%
30-39	291	12.9%
40-49	576	25.4%
50-59	476	21.0%
60-69	171	7.6%
70-	18	0.8%
無回答など	30	1.3%
計	2,264	—

表7 年齢層（以前のデータとの比較）

	昭和50年	昭和62年	本調査
-9	0.6%	2.0%	2.0%
10-19	19.5%	14.5%	15.8%
20-29	51.7%	17.8%	13.6%
30-39	16.4%	28.2%	13.0%
40-49	8.0%	25.3%	25.8%
50-59	2.7%	9.0%	21.3%
60-69	0.9%	2.6%	7.7%
70-	0.2%	0.6%	0.8%
無回答など	4	88	30
	985	2,598	2,264

注 本調査のデータは、以前のデータと比較するため、「無回答など」を除いて計算している。

(5) 記入者の住所

アンケート記入者の住所について、表8に示した。「石川県」が35.3%と全体の約3分の1を占め、ついで「福井県」の14.0%となっている。同じ北陸でも、「富山県」は1.6%と、その比率が低い。また、北陸以外で比率が高いのは、「近畿地方」22.1%、「関東地方」10.3%であった。本調査のデータと平成8年の室堂夏山の宿泊者のデータとを比較すると、その値は、ほぼ同じであった(表9)。

以前のデータ(昭和50年、昭和62年)と平成8年のデータ(すべて、室堂の夏山宿泊者のデータ)とを比較すると「石川県」の比率が52.3%(昭和50年)から37.5%(平成8年)へと大幅に低下しているのに対し、「関東地方」が4.6%(昭和50年)から10.1%(平成8年)へ、「近畿地方」が14.9%(昭和50年)から18.7%(平成8年)へと増加するなど、石川県外からの登山者数の割合が増加している(表9)。

表8 アンケート記入者の住所

住所区分	回答数	%
富山	37	1.6%
石川	800	35.3%
福井	317	14.0%
北海道	3	0.1%
東北	18	0.8%
関東	234	10.3%
中部	218	9.6%
近畿	501	22.1%
中国	57	2.5%
四国	12	0.5%
九州	18	0.8%
海外	3	0.1%
無回答など	46	2.0%
計	2,264	—

表9 住所(以前のデータとの比較)

住所区分	昭和50年 室堂宿泊	昭和62年 室堂宿泊	平成8年 室堂宿泊	本調査 回答者
富山	1.8%	2.2%	1.4%	1.6%
石川	52.3%	48.3%	37.5%	35.3%
福井	17.1%	20.0%	15.5%	14.0%
北海道	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%
東北	0.0%	0.2%	0.7%	0.8%
関東	4.6%	4.6%	10.1%	10.3%
中部	8.1%	7.0%	10.7%	9.6%
近畿	14.9%	15.6%	18.7%	22.1%
中国	0.6%	1.4%	2.8%	2.5%
四国	0.2%	0.4%	1.0%	0.5%
九州	0.2%	0.4%	1.2%	0.8%
海外	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
無回答など	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
計	22,136	20,438	18,786	2,264

(6) 人数構成

アンケート記入者のグループの人数構成について表10に示した。「4人以上」のグループが47.5%と約半数となっている。ついで「2人」(25.7%)となっている。以前のデータ(昭和62年)と比較すると、「2人」のグループが19.7%から25.7%へ増加したのに対して、「4人以上」のグループが52.9%から47.5%へ減少している(表11)。

表10 グループの人数構成

グループ人数	回答者数	%
1人	283	12.5%
2人	581	25.7%
3人	307	13.6%
4人以上	1,075	47.5%
無回答など	18	0.8%
計	2,264	—

表11 人数構成(以前のデータとの比較)

グループ人数	昭和62年	本調査
1人	11.2%	12.5%
2人	19.7%	25.7%
3人	13.5%	13.6%
4人以上	52.9%	47.5%
無回答など	2.7%	0.8%
計	2,598	2,264

また、グループの人数構成について年齢別にみると(図3)、「~19歳」では、圧倒的に「4人以上」が多く、78.1%となっている。「20歳~29歳」、「50歳~59歳」、「60歳~」では、「2人」のグループと「4人以上」のグループがほぼ同数なのに対し、「30歳~39歳」、「40歳~49歳」では「4人以上」のグループが「2人」のグループよりも多くなっている。また、「1人」で来ている人が30歳以降、年齢が高くなるにつれ、その比率が高くなっている。

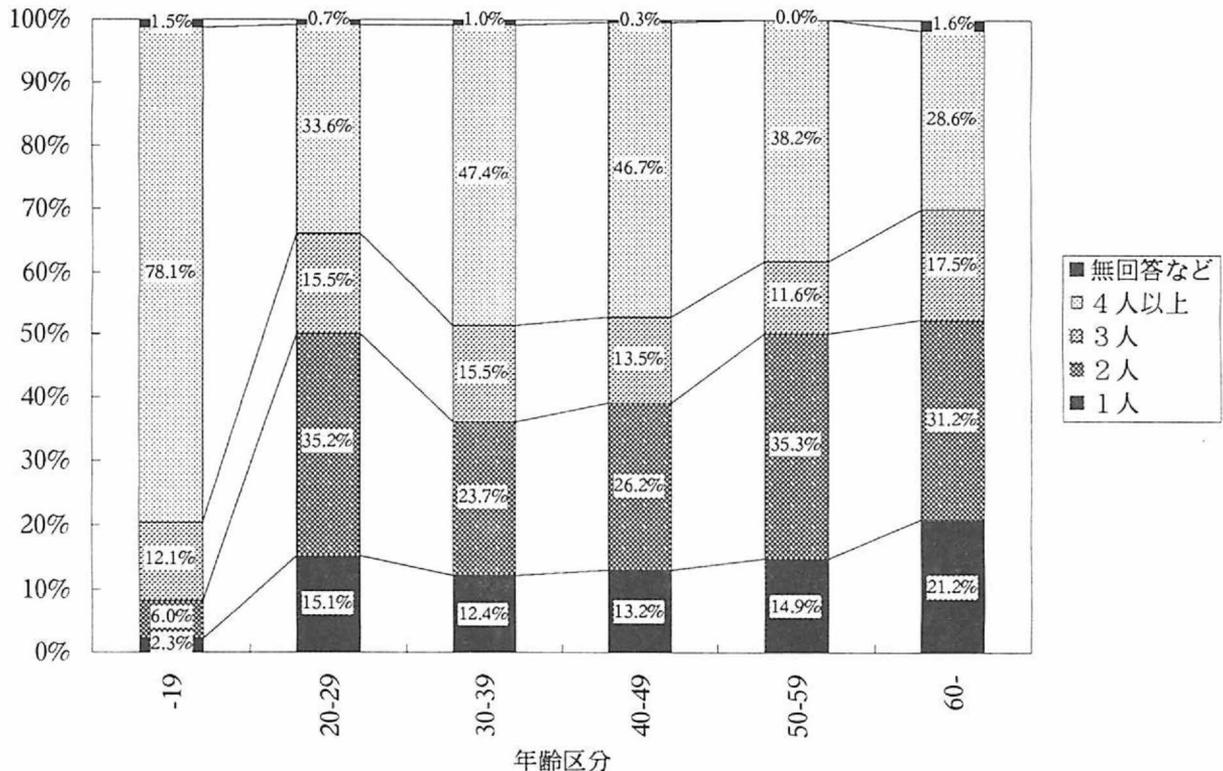


図3 年齢別人数

また、これをグループ構成別にみると、図4のようになり、グループ構成によって人数にちがいがみられる。「学校」では、ほとんどが「4人以上」（94.3%）となっているのに対し、「家族」では、「4人以上」は35.3%と少なく、約半数は「2人」（46.7%）である。

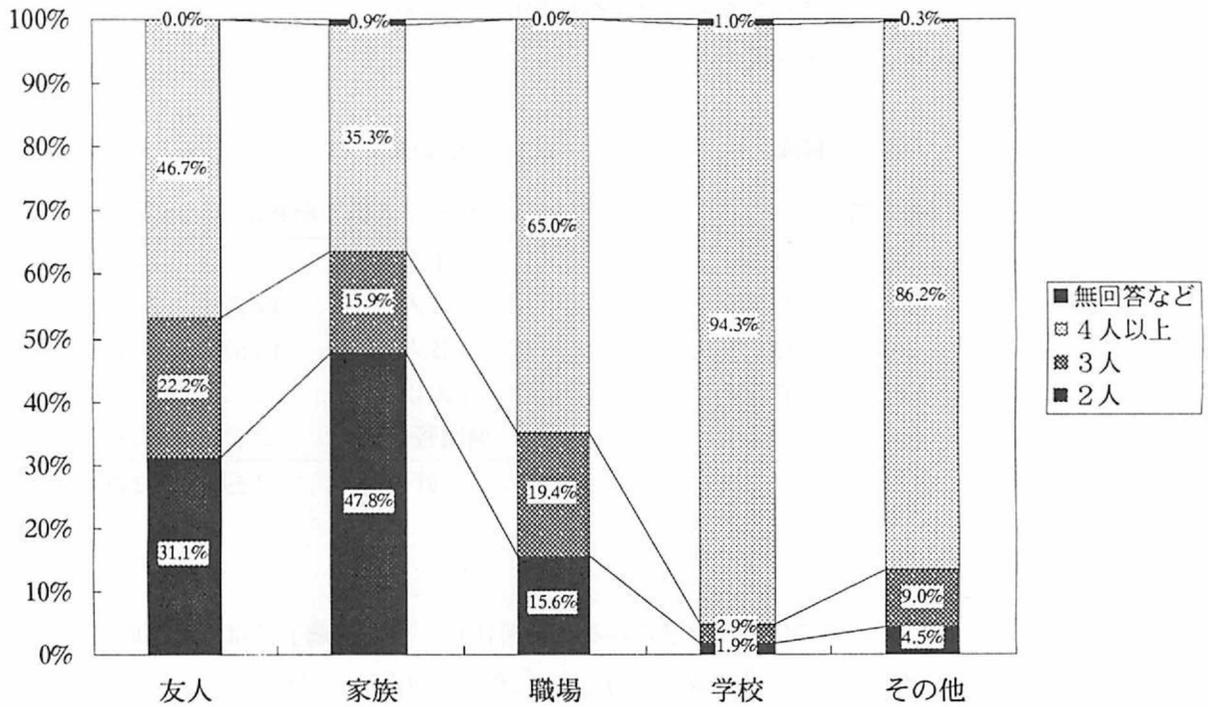


図4 グループ構成別人数

(7) グループ構成

アンケート記入者のグループ構成について表12に示した。「家族」とが最も多く、38.0%。ついで「友人」とが25.3%となっている。また、回答者のグループ構成のうち、「その他」の内訳を表13に示した。

これを、年齢別にみると(図5)、「～19歳」では、「家族」及び「学校」が多く、特に「学校」は他の年齢に比べその割合が高い。「20歳～29歳」では「家族」の割合が減少し、かわって「友人」との割合が高くなる。30歳以降になると、「家族」の割合が再び大きくなるが、年齢が高くなるほどその割合は減少し、かわって「友人」との割合が増加してくる。「職場」の割合は「20歳～29歳」、「30歳～39歳」で高くなっている(それぞれ12.5%、12.4%)。

表12 回答者のグループ構成

	回答者数	%
友人	501	25.3%
家族	753	38.0%
職場	160	8.1%
学校	105	5.3%
その他	399	20.1%
無回答など	63	3.2%
計	1,981	—

表13 回答者のグループ構成(その他)

	回答者数	%
友人、家族、親戚など複数回答	171	42.9%
地域	61	15.3%
山岳会など	42	10.5%
ツアーなど	40	10.0%
その他のグループ	51	12.8%
不明	34	8.5%
計	399	—

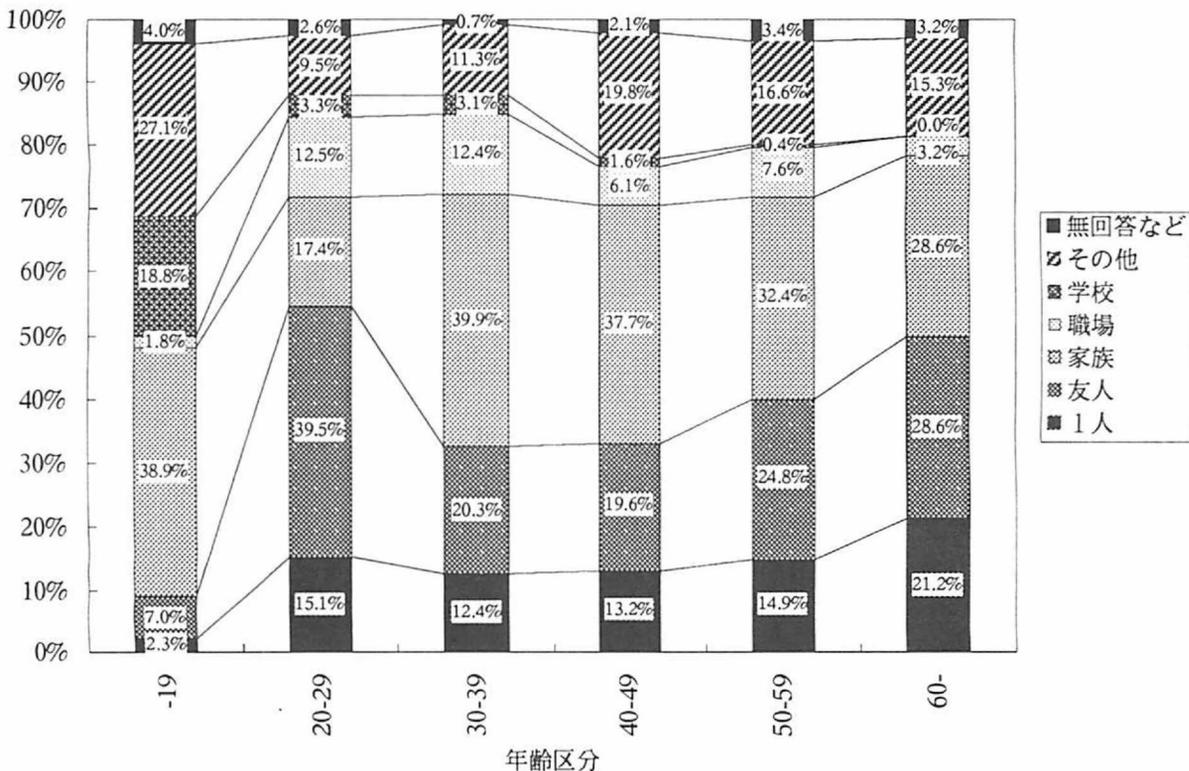


図5 年齢別グループ構成

3. 利用目的

(1) 市ノ瀬の利用目的

市ノ瀬でアンケートを記入した人の利用目的（複数回答）について、表14、図6に示した。「登山目的」がほとんどで、回答があった人の69.0%になる。ついで「自然観察」が28.0%となっている。

表14 市ノ瀬利用目的

利用目的	回答者数	%
登山	138	69.0%
キャンプ	34	17.0%
温泉利用	14	7.0%
魚釣り（川遊び）	6	3.0%
自然観察	56	28.0%
バードウォッチング	10	5.0%
ドライブ	25	12.5%
サイクリング	1	0.5%
その他	15	7.5%
回答者数	200	—

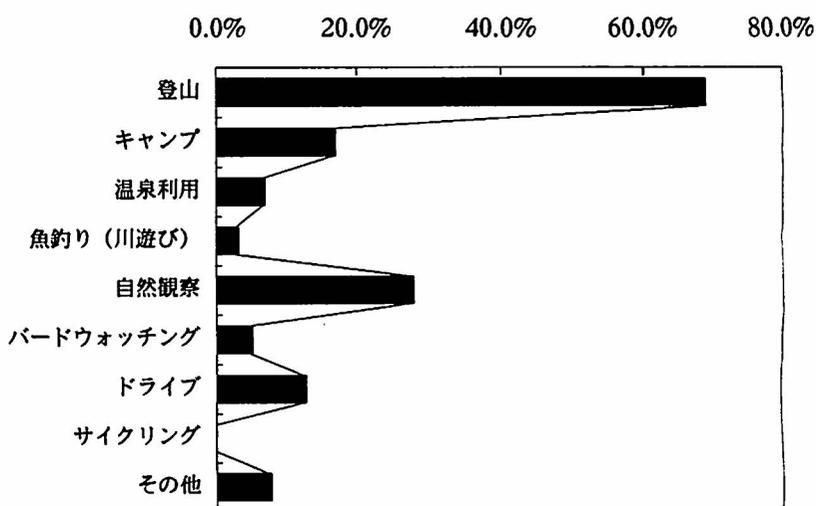


図6 市ノ瀬利用目的

(2) 登山の目的

別当出合、南竜ヶ馬場、室堂で記入した人の登山目的（複数回答）について表15、図7に示した。「自然観察」が回答のあった方の92.5%、ついで「山が好き」の60.1%となっている。「その他」には、「写真撮影」や「日本百名山だから」などがあげられていた。さらに「自然観察」の中では、「雄大な景色、展望」（83.0%）、「高山植物」（69.5%）の回答が多くなっている（表16、図8）。「その他」には、「星空」「雪」などがあげられていた。

表15 登山目的

登山目的	回答者数	%
自然観察	1,847	92.5%
御来光	806	40.4%
山が好き	1,200	60.1%
健康管理	423	21.2%
白山信仰（おまいり）	129	6.5%
教育（自己啓発）のため	150	7.5%
サークル、クラブ活動として	91	4.6%
その他	147	7.4%
回答者数	1,997	—

表16 自然観察目的

自然観察目的	回答者数	%
高山植物	949	69.5%
火山地形・地質	99	7.2%
雄大な景色、展望	1,134	83.0%
動物	120	8.8%
その他	39	2.9%
回答者数	1,366	—

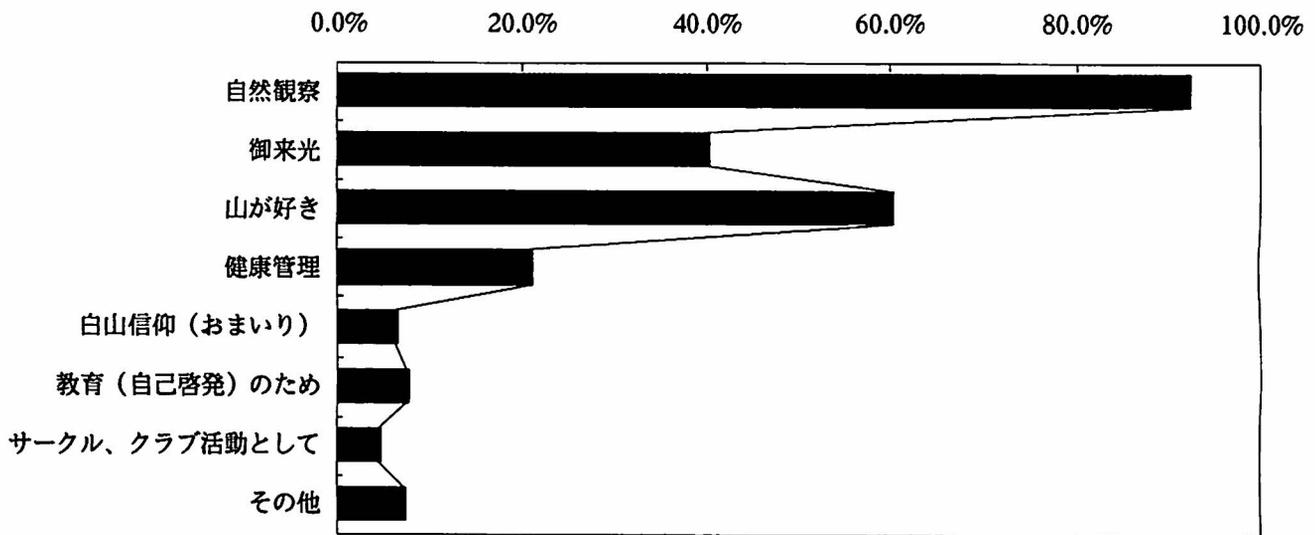


図7 登山目的

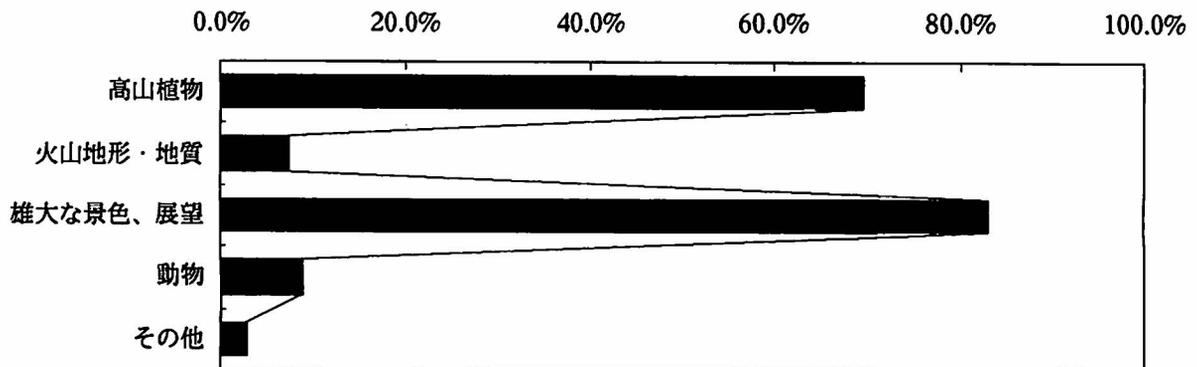


図8 自然観察目的

年齢別登山目的（複数回答）を表17に示した。どの年代においても「自然観察」を目的として登山する人が最も多い。「山が好き」で登山する人は「～19歳」では低く、回答者の35.2%であるが、年齢が上がるにつれて、その比率は高くなる傾向がみられ、「60歳～」では78.2%にもなる。同様な傾向は、その比率の変化は小さいが、「健康管理」でもみられる。

表17 年齢別登山目的

年齢別登山目的	-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-	無回答 など
自然観察	87.4%	91.4%	93.4%	92.7%	94.6%	96.4%	100.0%
御来光	47.0%	40.3%	41.0%	38.7%	37.1%	40.0%	36.4%
山が好き	35.2%	55.6%	54.5%	68.5%	69.5%	78.2%	54.5%
健康管理	11.7%	11.6%	15.2%	23.1%	31.0%	37.0%	0.0%
白山信仰 (おまいり)	4.6%	6.3%	4.9%	6.2%	7.2%	11.5%	9.1%
教育 (自己啓発) のため	9.2%	9.3%	11.5%	6.9%	4.4%	5.5%	4.5%
サークル、クラブ活動として	7.4%	4.5%	3.7%	5.0%	2.6%	3.0%	9.1%
その他	13.2%	14.6%	7.4%	4.8%	4.0%	1.2%	0.0%
回答者数	349	268	244	520	429	165	22

登山経験別登山目的（複数回答）を表18に示す。いずれも「自然観察」を目的として登山する人が最も多い。しかし、「御来光」や「山が好き」では、登山経験によってちがいがみられた。「御来光」は「初心者」の回答者のうち46.7%が登山の目的にあげ、比較的高率であるのに対し、「中級者」「ベテラン」では、それぞれ38.4%、27.2%と登山経験があるほど低率になる。一方、「山が好き」は「初心者」の回答者のうちの41.4%が目的にあげているが、「中級者」「ベテラン」では、それぞれ75.9%、72.8%とさらに高率になっている。

表18 登山経験別登山目的

	初心者	中級者	ベテラン	無回答 など
自然観察	91.7%	93.2%	91.7%	94.9%
御来光	46.7%	38.4%	27.2%	24.4%
山が好き	41.4%	75.9%	72.8%	44.9%
健康管理	20.3%	22.8%	20.7%	12.8%
白山信仰（おまいり）	4.8%	7.8%	7.7%	5.1%
教育（自己啓発）のため	9.3%	5.6%	10.7%	3.8%
サークル、クラブ活動として	3.7%	5.3%	4.7%	3.8%
その他	7.8%	6.3%	13.0%	2.6%
回答者数	829	921	169	78

利用期間別登山目的（複数回答）を表19に示した。「御来光」に大きなちがいがみられ、「1泊」の回答者の約半数、49.1%が登山目的にあげているのに対し、「2泊」「3泊以上」と利用期間が長くなるほど、回答する割合が低下する（それぞれ31.2%、28.6%）。

表19 利用期間別登山目的

	日帰り	1泊	2泊	3泊以上	無回答 など
自然観察	90.3%	92.4%	93.9%	92.4%	100.0%
御来光	4.6%	49.1%	31.2%	28.6%	33.3%
山が好き	62.6%	56.5%	72.0%	64.7%	33.3%
健康管理	22.6%	20.5%	21.9%	25.2%	16.7%
白山信仰（おまいり）	6.7%	6.6%	5.8%	5.9%	8.3%
教育（自己啓発）のため	6.7%	8.0%	6.4%	6.7%	8.3%
サークル、クラブ活動として	2.1%	4.4%	6.1%	6.7%	0.0%
その他	10.3%	6.3%	6.7%	16.8%	8.3%
回答者数	195	1,328	343	119	12

4. 登山経験

(1) 登山歴

別当出合、南竜ヶ馬場、室堂でアンケートに記入した人の登山歴について表 20 に示す。「初心者」と「中級者」がほぼ同数であった（それぞれ全回答者の 41.4%、45.8%）。

これを年齢別にあらわすと、表 21、図 9 のようになり、年齢が高くなるほど、「初心者」の割合は減少し、かわって「中級者」の割合が増加してくる。「ベテラン」は年齢が高くなるほど、その割合は多少増加するが、それほど顕著ではない。

表 20 アンケート回答者の登山歴

	回答者数	%
初心者	852	41.4%
中級者	943	45.8%
ベテラン	176	8.5%
無回答など	89	4.3%
計	2,060	

表 21 年齢別登山経験

	-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-	無回答 など
初心者	60.9%	55.8%	46.8%	34.2%	29.9%	22.8%	22.2%
中級者	29.4%	37.6%	42.3%	50.3%	54.8%	62.0%	48.1%
ベテラン	5.7%	5.8%	7.3%	10.2%	10.2%	11.7%	7.4%
無回答など	4.0%	0.7%	3.6%	5.3%	5.2%	3.5%	22.2%
回答者数	371	274	248	527	442	171	27

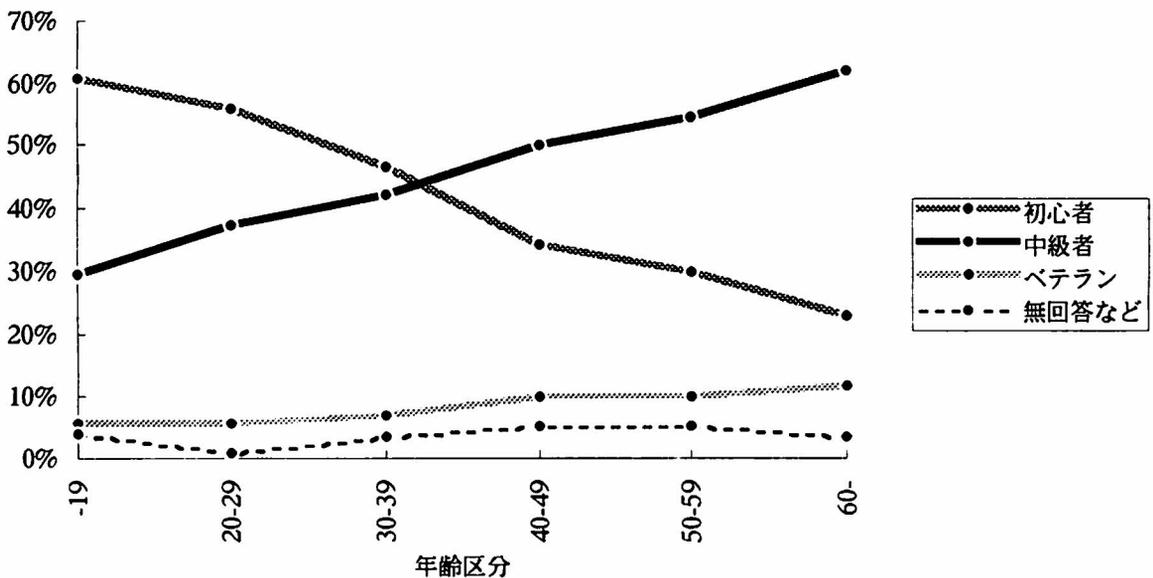


図 9 年齢別登山経験

また、これを住所別に示したのが、図10である。これを見ると、白山からの距離が近い「富山県」「石川県」「福井県」などで「初心者」の割合が高い（それぞれ62.9%、49.2%、46.6%。ただし、「富山県」は、回答数が37件と少ない）。それに対し、白山から距離がある地域からの登山者は、「初心者」の割合が低く、「中級者」「ベテラン」の割合が高くなる。特に「関東」からの登山者では、「初心者」の割合は21.3%にすぎないのに対し、「中級者」「ベテラン」は61.1%、14.4%とその割合が高くなっている。

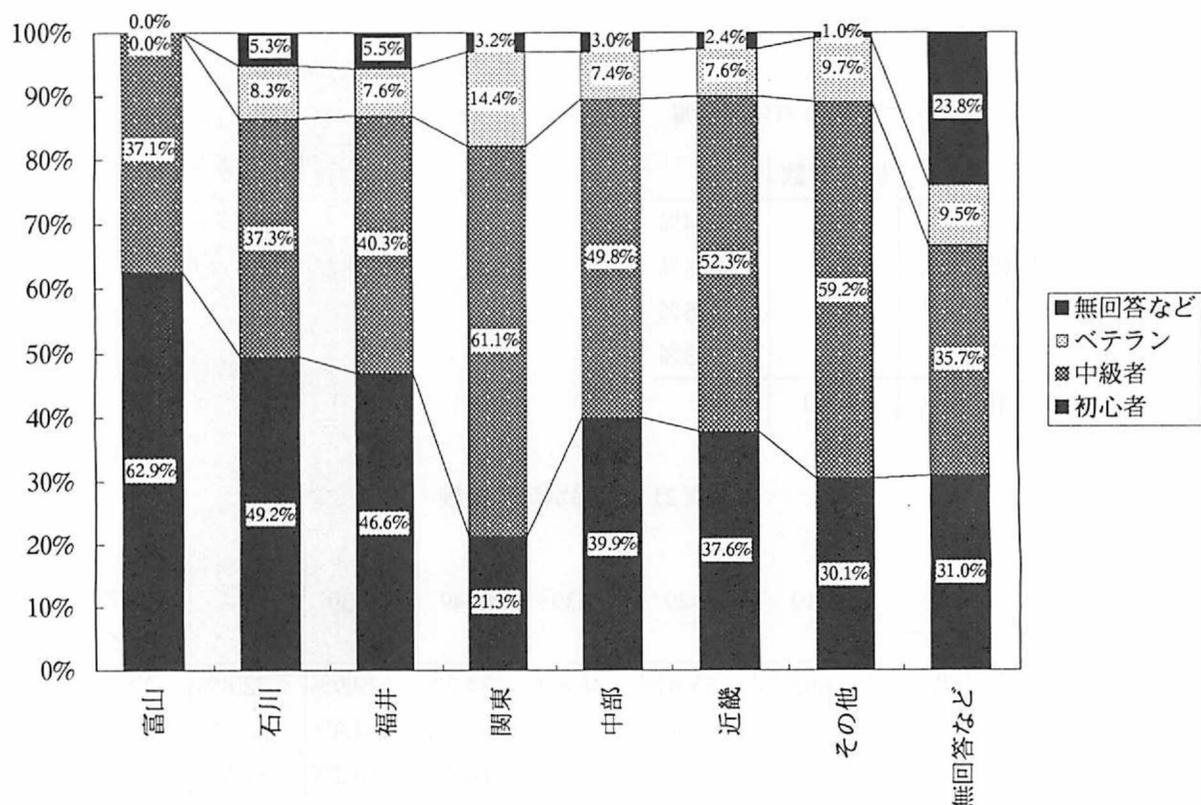


図10 住所別登山経験

(2) 白山登山回数

別当出合、南竜ヶ馬場、室堂でアンケートに記入した人の白山登山の回数について表22に示した。

これを住所別にあらわすと、図11のようになる。白山からの距離が近い「石川県」や「福井県」からは「2回目」あるいは「3回目以上」といったリピーターが多い（それぞれ、「2回目」と「3回目以上」をあわせて74.4%、64.9%）。同じ北陸でも「富山県」は「石川県」や「福井県」とはちがった傾向を示し、むしろ「中部」や「近畿」と同じ傾向を示す。すなわち、リピーターよりも「はじめて」の登山者が多くなり、約60%が「はじめて」の登山者となる。さらに白山から遠距離となる「関東」や「その他」では、よりその傾向が強くなり、約80%が「はじめて」の登山者となる。

これを前設問の登山歴とあわせて考えてみると、白山は石川県や福井県の人にとっては初心者から登山し、リピーターとして訪れる山であるが、関東など白山から遠い地方の人にとっては比較的登山経験をつんでから、はじめて訪れる山ということができる。

表22 アンケート回答者の白山登山回数

	回答者数	%
はじめて	912	44.3%
2回目	285	13.8%
3回目以上	755	36.7%
無回答など	108	5.2%
計	2,060	

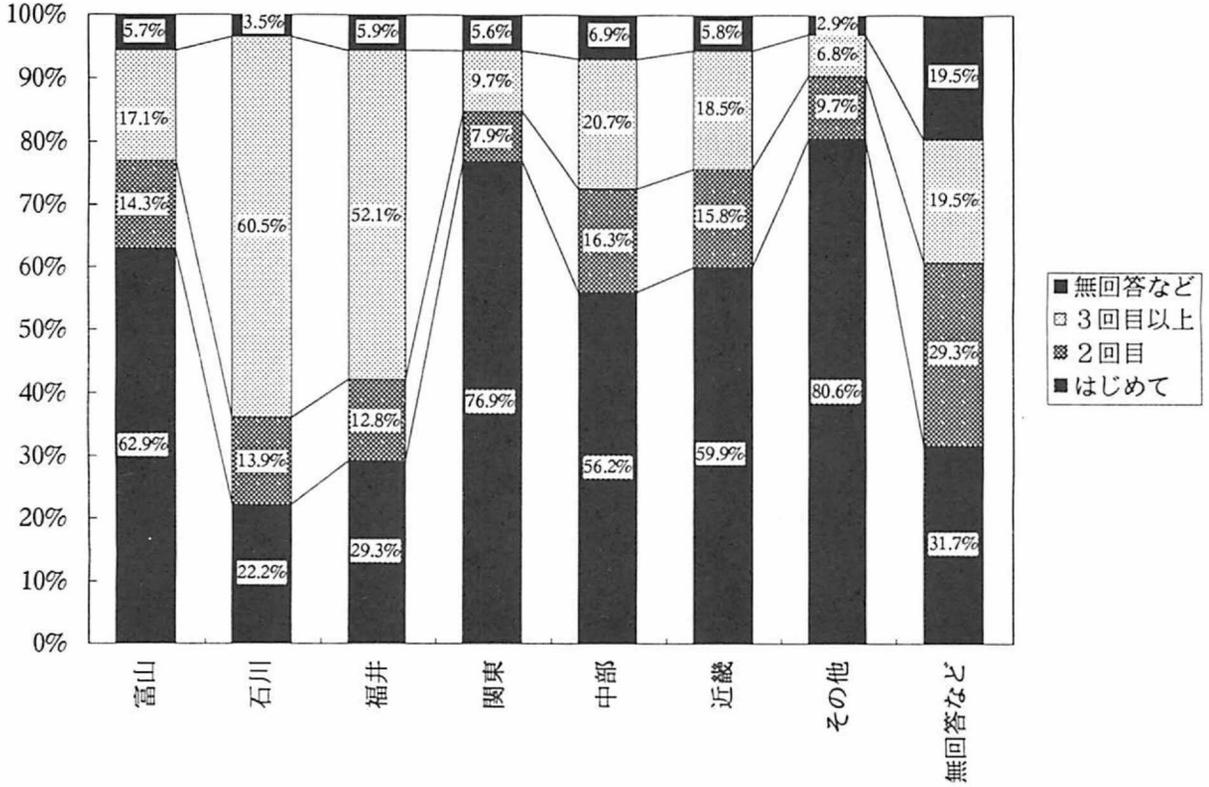


図11 住所別白山登山回数

5. 利用期間

アンケートに記入した人の白山周辺での利用期間について表 23 に示した。白山周辺での利用期間は、「1泊」が回答者の63.8%を占める。

これを年齢別にあらわすと、図 12 のようになる。「日帰り」の割合が最も高くなるのは「30歳～39歳」で、そこをピークにして年代が高くて、また低くても、その割合は低下している。「1泊」の割合が高くなっているのは、「～19歳」「40歳～49歳」で70%程度の人の利用期間となっている。「2泊」や「3泊以上」など長期滞在する割合が高いのは「20歳～29歳」「50歳～59歳」「60歳～」で、特に「50歳～59歳」では「2泊」「3泊以上」がそれぞれ22.7%、6.5%、「60歳～」では、それぞれ30.7%、12.2%と、年齢が高いほど白山周辺で長期間滞在する傾向がみられる。

表 23 アンケート回答者の利用期間
(白山周辺での)

	回答者数	%
日帰り	256	11.3%
1泊	1,444	63.8%
2泊	391	17.3%
3泊以上	144	6.4%
無回答など	29	1.3%
計	2,264	—

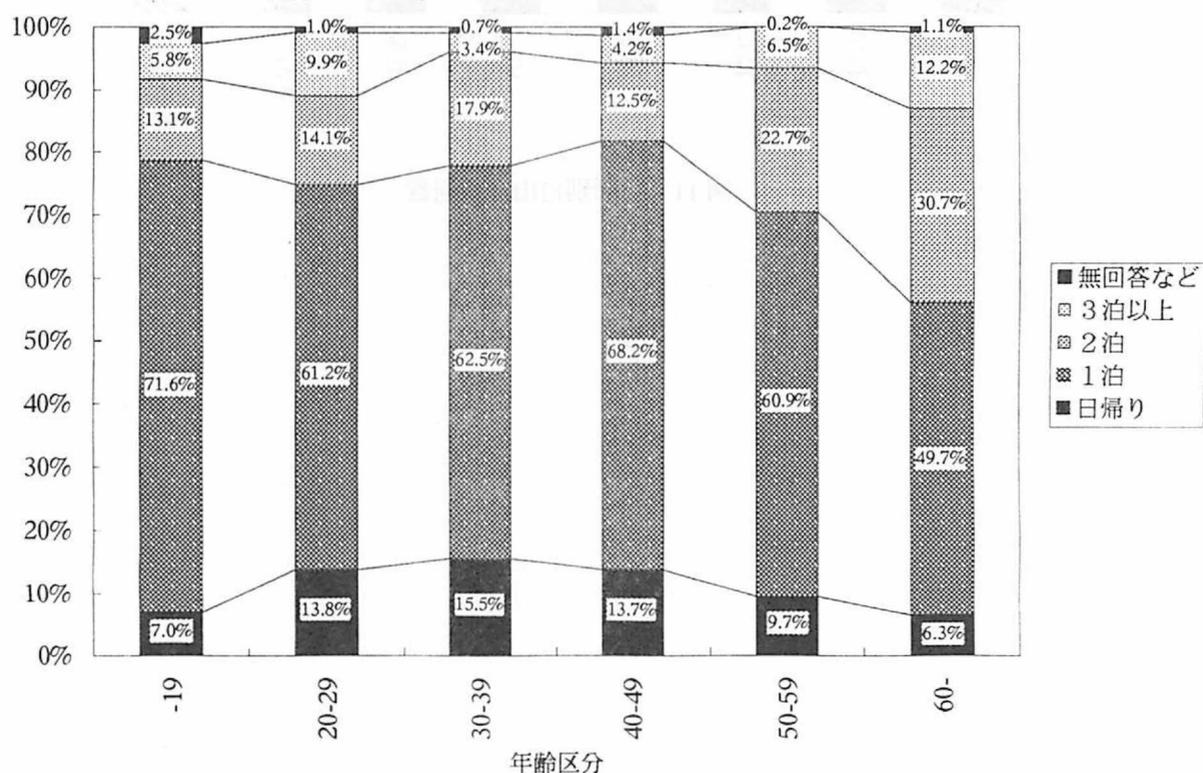


図 12 年齢別利用期間

また、これを住所別にあらわすと、図13のようになる。白山からの距離が近い「石川県」「福井県」では、「日帰り」や「1泊」の割合が高くなっている。一方、白山からの距離が遠い「関東」「中部」「近畿」「その他」は「2泊」や「3泊以上」の割合が高くなり、白山からの距離が遠いほど、よりその割合が高くなり、「関東」では「2泊」「3泊以上」の割合が、それぞれ32.5%、17.1%。「その他」では、それぞれ40.5%、18.0%となっている。

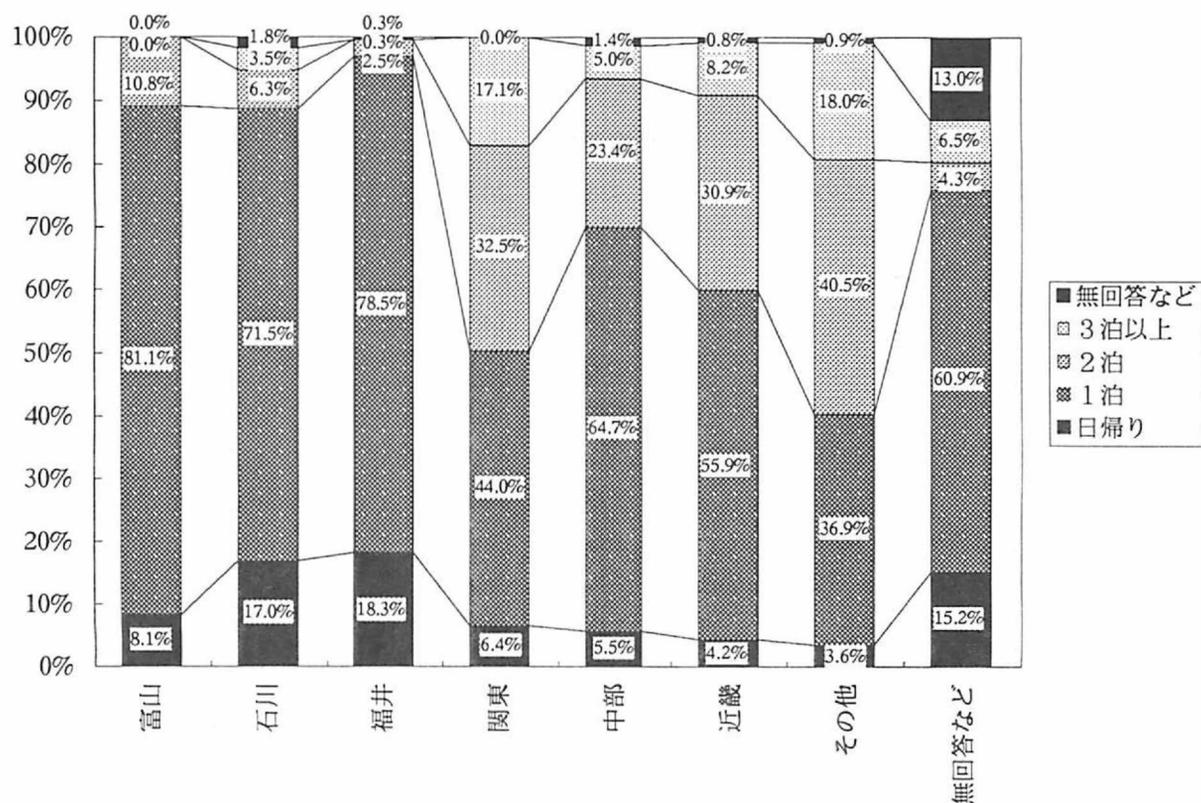


図13 住所別利用期間

6. 自然解説（ガイド）について

（1）自然解説（ガイド）希望内容

白山国立公園に自然解説員やガイドがいた場合、何について案内してもらいたいかについてのアンケート結果（複数回答）を表24、図14に示した。特に回答率が高かったのは「高山植物」で67.7%で、ついで「白山や雄大な景色を展望できる場所」36.0%であった。「その他」には「星座」などがあげられていた。

表24 自然解説希望内容

自然解説希望内容	回答者数	%
ミズバショウなどの植物	428	20.8%
ブナ林	430	20.9%
高山植物	1,391	67.7%
ほ乳類	306	14.9%
昆虫	286	13.9%
鳥	628	30.6%
火山地形、地質	585	28.5%
化石	397	19.3%
白山の歴史・文化	583	28.4%
白山や雄大な景色を展望できる場所	739	36.0%
溪流（川）	323	15.7%
その他	38	1.8%
回答者数	2,055	—

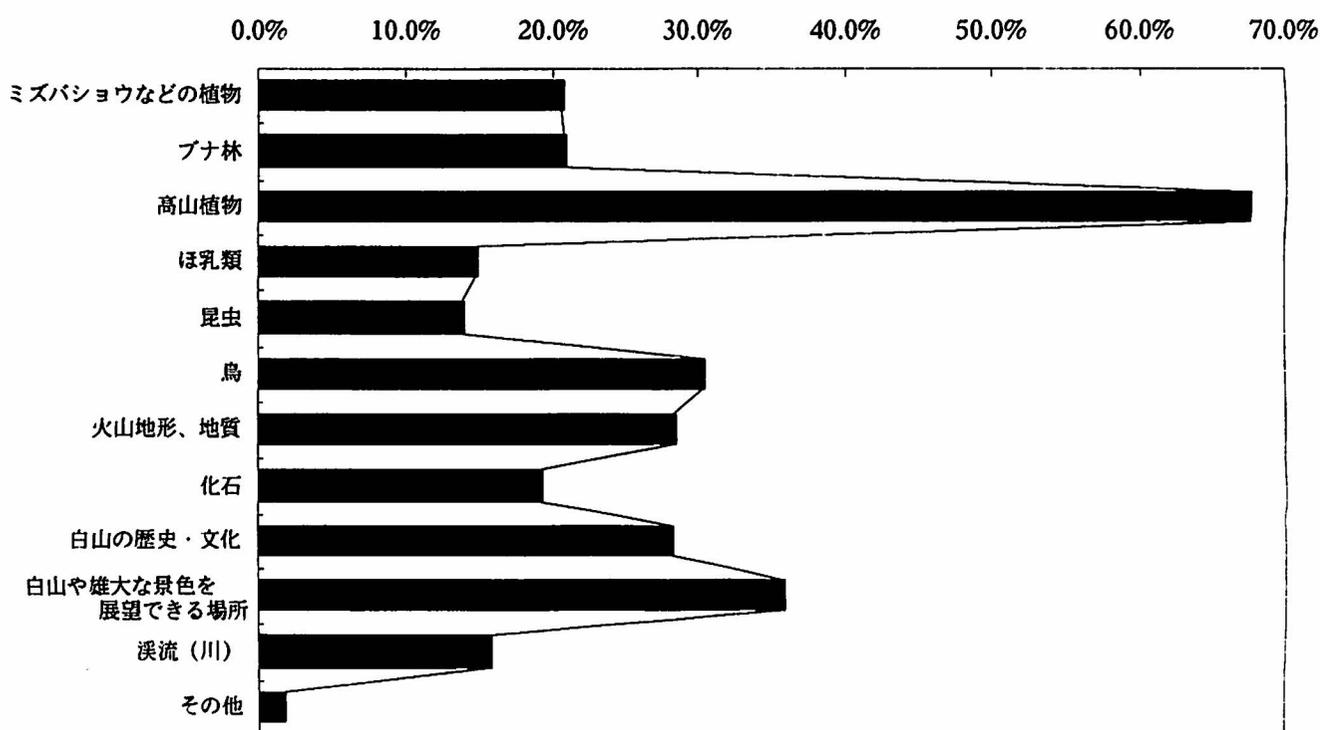


図14 自然解説希望内容

これを年齢別にみると、表25、図15のようになり、年齢によって自然解説希望内容にちがいがみられる。特に異なっていたのは「～19歳」で、他の年代に比べ、「ほ乳類」「昆虫」「鳥」「化石」「溪流(川)」の回答率が高く、「ブナ林」「高山植物」「火山地形、地質」「白山の歴史・文化」の回答率が低い。

項目別には「高山植物」「白山の歴史・文化」は年齢が高いほど自然解説を希望している。それに対し、「ほ乳類」「溪流(川)」は年齢が低いほど自然解説を希望している。

表25 年齢別自然解説希望内容

	-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-
ミズバショウなどの植物	20.9%	26.0%	23.4%	18.6%	18.9%	19.6%
ブナ林	11.2%	18.6%	21.2%	26.3%	23.6%	19.0%
高山植物	41.9%	60.0%	69.0%	77.7%	77.8%	76.6%
ほ乳類	26.3%	20.0%	15.7%	10.9%	8.6%	7.6%
昆虫	20.1%	11.9%	16.1%	12.6%	11.0%	10.8%
鳥	39.7%	31.6%	32.1%	26.8%	28.6%	23.4%
火山地形、地質	23.2%	27.4%	31.0%	30.0%	29.8%	29.1%
化石	37.7%	19.6%	15.7%	16.1%	13.4%	11.4%
白山の歴史・文化	20.4%	21.4%	28.8%	32.3%	31.7%	36.7%
白山や雄大な景色を展望できる場所	33.8%	40.7%	34.7%	31.0%	43.9%	29.1%
溪流(川)	28.5%	26.7%	12.0%	11.8%	9.3%	5.1%
その他	3.9%	2.5%	1.8%	0.9%	1.0%	1.3%
回答者数	358	285	274	533	419	158

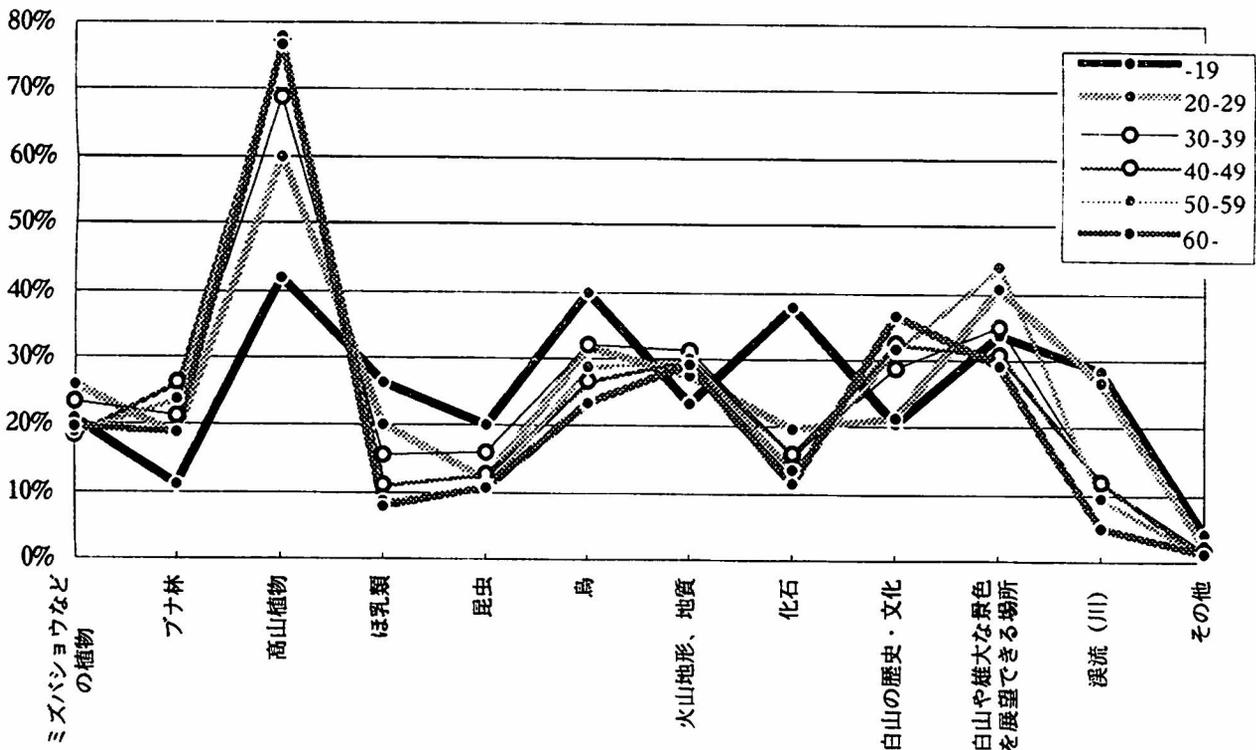


図15 年齢別自然解説希望内容

また、グループ構成によっても自然解説希望内容にちがいがみられ、「学校」では、年齢別の「～19歳」と同様な傾向がみられた（表26、図16）。すなわち、他のグループに比べ、「学校」は、「ブナ林」「高山植物」「白山の歴史・文化」で回答率が低いが、「ほ乳類」「昆虫」「化石」「溪流（川）」では、回答率が高くなっている。

このように解説希望内容が年齢別、グループ構成別にちがっていることから、自然解説する場合には、年齢別、グループ構成別にちがった解説内容を用意する必要があると思われる。

表26 グループ構成別自然解説希望内容

	1人	友人	家族	職場	学校	その他
ミズバショウなどの植物	22.0%	20.7%	21.2%	22.5%	19.6%	19.3%
ブナ林	29.4%	22.0%	20.3%	19.2%	12.4%	18.0%
高山植物	73.7%	69.0%	70.2%	66.2%	39.2%	65.2%
ほ乳類	10.6%	16.0%	15.9%	12.6%	21.6%	13.8%
昆虫	9.8%	15.6%	14.9%	11.9%	19.6%	12.4%
鳥	27.1%	30.8%	34.2%	29.8%	26.8%	26.8%
火山地形、地質	36.1%	27.0%	28.0%	33.8%	27.8%	26.2%
化石	14.5%	17.6%	22.3%	13.9%	30.9%	18.8%
白山の歴史・文化	33.3%	30.1%	27.7%	22.5%	21.6%	29.6%
白山や雄大な景色を展望できる場所	30.6%	37.4%	36.9%	33.1%	29.9%	39.2%
溪流（川）	11.4%	16.0%	13.7%	19.2%	25.8%	18.8%
その他	1.6%	1.1%	1.5%	2.6%	8.2%	1.9%
回答者数	255	455	685	151	97	362

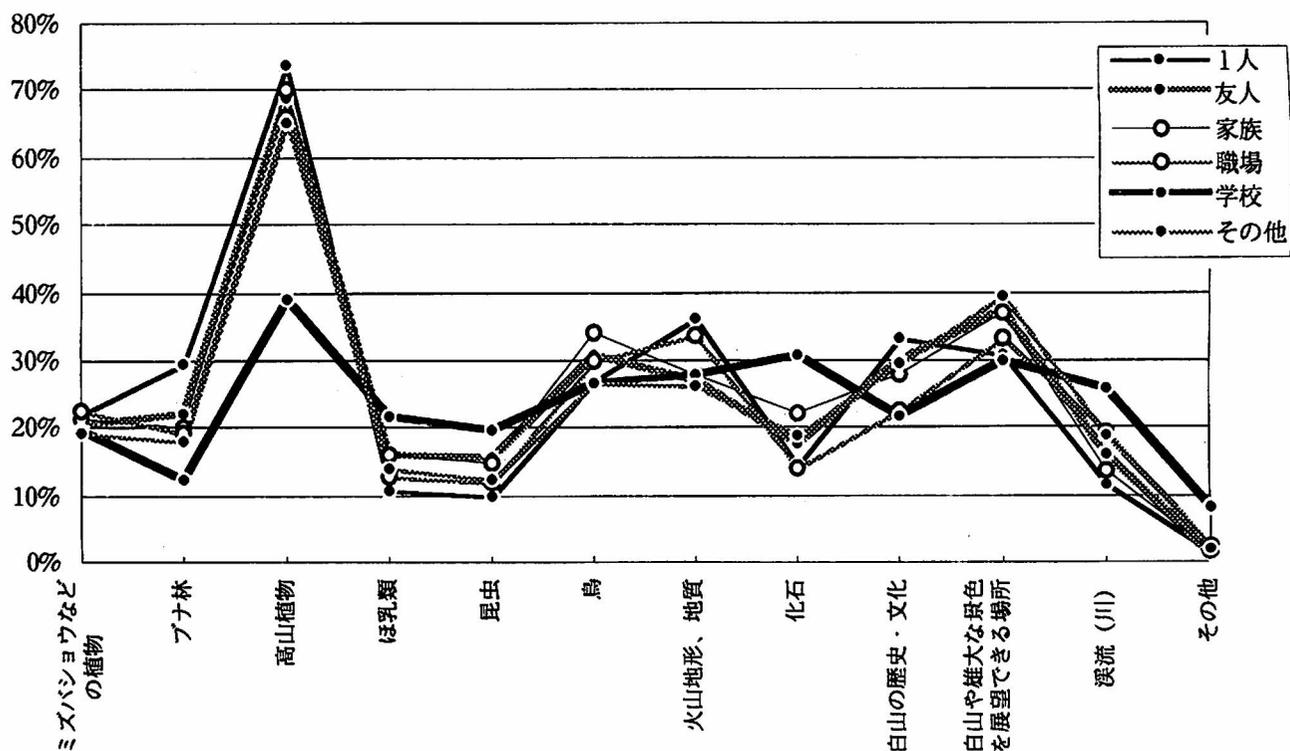


図16 グループ構成別自然解説希望内容

(2) 自然解説（ガイド）希望時間

自然解説希望時間についての結果（複数回答）を表27に示した。2,041件の回答のうち解説時間を「2時間」とする人が最も多く、51.9%の回答率であった。ついで「半日」の34.3%となっていた。表に示すとおり、解説時間が長いほど回答率は低下する。

表27 自然解説希望時間

解説時間	回答数	%
2時間	1,060	51.9%
半日	700	34.3%
1日	194	9.5%
1泊2日	87	4.3%
2泊以上	22	1.1%
回答者数	2,041	

(3) 自然解説（ガイド）料について

自然解説料についての結果を表28に示した。「有料でも自然解説（ガイド）してもらいたい」「内容に応じて有料でもよい」がそれぞれ13.6%、57.8%、あわせて71.4%の人が有料でも自然解説を望むことがわかった。

これを年齢別にみると、「有料なら利用したくない」は年齢が低いほど回答率が高く、「有料でも自然解説（ガイド）してもらいたい」は、年齢が高いほど回答率が高くなる（図17）。

また、「有料でも自然解説（ガイド）してもらいたい」について解説希望時間別にみると、解説希望時間が長いほど、有料でも自然解説してもらいたいという回答の率が高くなっている（図18）。

表28 自然解説料について

	回答者数	%
有料でも自然解説（ガイド）してもらいたい	307	13.6%
内容に応じて有料でもよい	1,309	57.8%
有料なら利用したくない	399	17.6%
無回答など	249	11.0%
計	2,264	

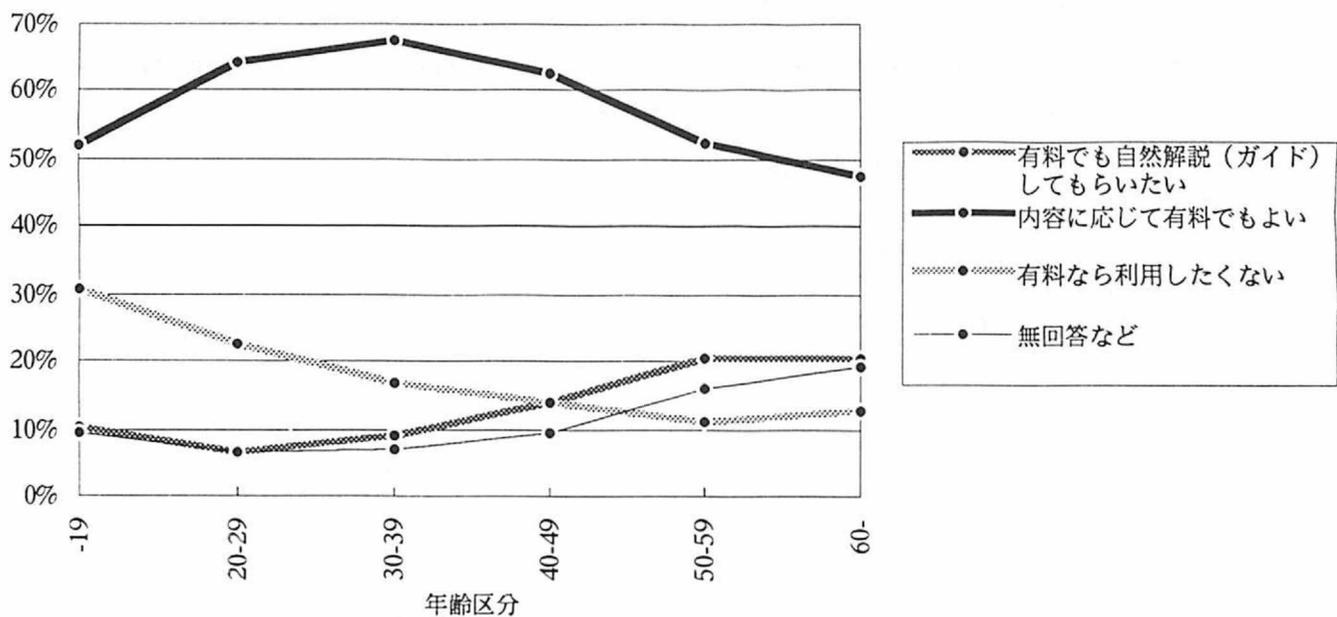


図17 ガイド料について (年齢別)

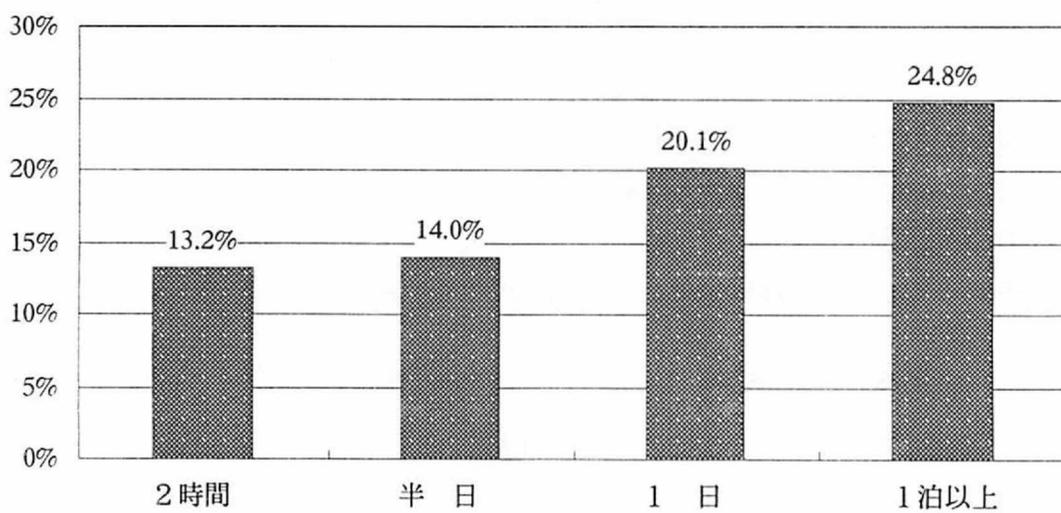


図18 解説希望時間別「有料でも自然解説(ガイド)してもらいたい」の回答率

(4) 自然解説(ガイド)への要望

自然を楽しむための施設やサービスなどについての要望を聞いたところ、377人から回答が得られた。そのうち、主なものについて以下に示す。

- どのあたりにどんな花が咲いているか場所と花の名前などの看板のようなものがあればわかりやすい。(石川 女性 45歳)
- 自然観察路の説明板が、どの植物をさしているのかわかりにくい。鳥の説明も付けてほしい。(大阪 女性 24歳)
- 山頂の池の由来(伝説)などが書いてあればもっと良い。(神奈川 男性 25歳)
- 季節に適應したパンフレットの配備。(兵庫 男性 65歳)
- 高山植物や動物などの名前が分かるガイドブックを作してほしい。(兵庫 女性 13歳)
- 夜の観察会等があると良いと思います。(福井 男性 38歳)
- 天体観測などができればよい。(石川 男性 36歳)
- ビデオや映画(自然関係)の定期的上映を考えて欲しい。(神奈川 男性 47歳)
- 夕食後のスライドは是非やってほしい。(石川 女性 57歳)
- 望遠鏡や双眼鏡をレンタルしていただけないでしょうか。(石川 男性 30歳)
- 白山の歴史や信仰、自然を展示した博物館。(大阪 男性 37歳)
- 展示の更新を少しずつでもやってほしい。季節の展示。(岐阜 男性 22歳)
- 室堂センター内の白山の動植物のパネル展示等をしている場所がわかりにくい。(京都 女性 39歳)
- 宿泊施設等に高山植物、小動物、白山特有の地形など写真で解説(紹介)していただけるとうれしい。(京都 女性 34歳)
- 自然を守るための、登山者への啓発運動に力を入れて下さい。(京都 女性 28歳)
- とにかく自然保護、現状維持に徹してほしい。これ以上余計な施設は望まない。(石川 男性 23歳)
- 自然をそのままに生かす方向の施設なりサービスであってほしい。一般に自然公園を利用する人が増えるほど過剰サービスになる傾向がある。(大阪 男性 36歳)
- ガイド等、詳しい方の説明はしていただきたいけれど、 unnecessaryな施設を建てることはありません。施設は今でも充分です。(福井 女性 27歳)
- 立山の室堂のように解説員が随時同行してくれるようなシステムがあればいい。(神奈川 男性 68歳)
- 自然解説員の人員を増やしてもらいたい。(石川 男性 53歳)
- 登山道ははっきりしているが、ガイドマップを金沢駅前、別当出合等で配布してもらいたい。(静岡 男性 63歳)
- 自然を守ることが、自然を楽しむために、まず重要であることを教育できるような場、機会が必要だと思う。(石川 女性 33歳)
- 色々なコース(釈迦等)のガイドツアーを企画されたら参加したい。(福井 男性 47歳)
- 立入禁止 自然保護の考えかたを周知徹底させる手段の開発が必要。(京都 男性 53歳)
- 日程によってコースを選べるようにいろいろなパターンがあるとよい。(滋賀 女性 26歳)
- 今年は女性の自然解説員の案内でしたが、非常に分かりやすく、丁寧で良かった。少額なら有料でよい。(石川 男性 61歳)
- 子供に自然と遊ぶ、うまくつきあう方法を教えてあげてほしい。(石川 女性 24歳)
- 写真撮影のツアー。(愛知 男性 36歳)

7. 夏山の宿泊予約制について

これまで白山山頂部の宿泊施設である白山室堂及び南竜山荘では、夏山のシーズンの週末に登山者が集中し、多いときには宿泊定員の2.5倍以上の人が宿泊するなど、施設の安全管理、高山帯に生育、生息する動植物への悪影響等が指摘されていた。

このピーク時における宿泊施設の著しい混雑の解消と白山の自然保護と適正な利用を図るため、平成8年度、白山高山帯の宿泊施設の予約制の試行が行われた。予約制の対象とした施設は白山室堂（定員750人）及び南竜山荘（定員150人）で、試行期間は平成8年7月1日～平成8年8月31日であった。申し込みは原則として電話による申し込みとし、白山室堂については（財）白山観光協会、南竜山荘については白峰村観光協会へ申し込むこととし、それぞれ平成8年5月1日より受付を開始した。予約制については、予約制を試行する旨を伝えるパンフレット、ポスター等の作成及び配布、新聞、ラジオ、テレビ等によって広報活動を行った。

（1）予約制の周知度

予約制を知っていたかどうかについては、全体の67.1%が「知っていた」と回答している（表29）。

表29 予約制の周知度

	回答者数	%
知っていた	1,519	67.1%
知らなかった	670	29.6%
無回答など	75	3.3%
計	2,264	

予約制を知っていた人の割合を住所別にあらわすと、表30のようになり、石川県内での周知度は90.3%と高いが、富山、福井両県では、それぞれ73.0%、69.9%と石川県に比べ、約20%低い。さらに北陸以外では53.8%と約40%も低下している。つまり、北陸以外の人々の半数は夏山の宿泊予約制について知っていなかったことになる。

表30 地域別予約制周知度

	知っていた		知らなかった	
富山	27	(73.0%)	10	(27.0%)
石川	696	(90.3%)	75	(9.7%)
福井	214	(69.9%)	92	(30.1%)
北陸以外	559	(53.8%)	480	(46.2%)
無回答など	23	(63.9%)	13	(36.1%)
計	1,519	(69.4%)	670	(30.6%)

(2) 予約制の周知方法

予約制をどのようにして知ったか（複数回答）については、最も多かったのが「友人、知人から聞いた」が29.2%、ついで「新聞で知った」が27.9%となっている（表31）。「その他」にあげられていたものについては、表32に示す。また、これを住所別にみると表33のようになり、住所によって認知方法が異なっていることが明らかになった。つまり、北陸では、「新聞で知った」「テレビ、ラジオで知った」の比率が高く、北陸以外では低い。それに対し、「雑誌で知った」「関係機関への問い合わせで知った」は北陸でその比率が低く、北陸以外で高くなっている。これは平成8年度の新聞、テレビ、ラジオによる情報提供が北陸地方、特に石川県内に限られていたためと思われる。

表31 予約制の周知方法

	回答数	%
新聞で知った	418	27.9%
テレビ、ラジオで知った	237	15.8%
雑誌で知った	182	12.1%
関係機関への問い合わせで知った	224	15.0%
友人、知人から聞いた	437	29.2%
その他	211	14.1%
回答者数	1,498	—

表32 予約制の周知方法（その他）

	回答数	%
パンフレット	31	17.0%
地図・ガイドブック	34	18.7%
登山・スポーツ用品店	19	10.4%
ポスター	15	8.2%
看板	14	7.7%
家族から	16	8.8%
その他	53	29.1%
回答者数	182	—

表33 地域別周知方法

	石川		北陸		北陸以外	
新聞で知った	363	(52.4%)	403	(43.4%)	13	(2.4%)
テレビ、ラジオで知った	214	(30.9%)	225	(24.2%)	7	(1.3%)
雑誌で知った	23	(3.3%)	46	(5.0%)	132	(24.0%)
関係機関への問い合わせで知った	41	(5.9%)	64	(6.9%)	159	(29.0%)
友人、知人から聞いた	161	(23.2%)	271	(29.2%)	163	(29.7%)
その他	63	(9.1%)	108	(11.6%)	95	(17.3%)
回答者数	693		928		549	

(3) 予約制の周知時期

予約制をいつ知ったかについては、「7月ごろ」が27.1%と最も多い(表34)。これを住所別に周知率の変化(それぞれ「8月ごろ」を100%とする)をみると図19のようになる。石川県では「4月ごろ」にすでに29.9%の人が予約制を知っていたのに対し北陸以外では9.8%と低い。この状況は「7月ごろ」まで同様に石川県の人よりも北陸以外の人の方のほうが周知度が低い、これは石川県内の人の方が早くから予約制を知っていたのに対し、北陸以外の方は登山シーズンの直前ないし初期に知ったことを示している。

表 34 周知時期

	回答者数	%
4月ごろ	270	17.8%
5月ごろ	268	17.6%
6月ごろ	331	21.8%
7月ごろ	411	27.1%
8月ごろ	156	10.3%
無回答など	83	5.5%
計	1,519	

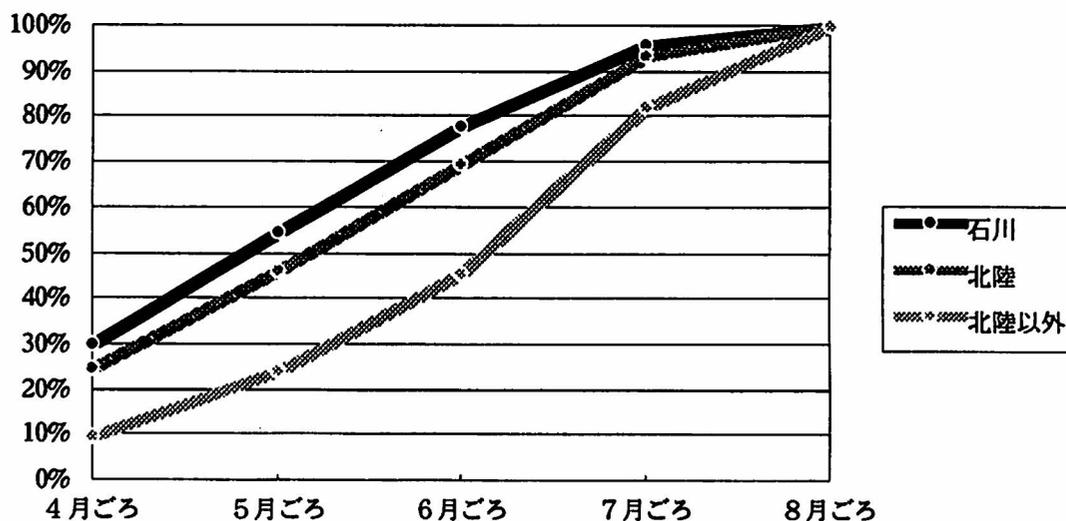


図19 地域別周知度の変化

しかし、早くから予約制を知っていた人が必ずしも希望日に予約、あるいは日を変更して予約して登山したわけではない(図20)。また、周知率の高かった石川県内及び北陸の人が必ずしも希望日に予約、あるいは日を変更して予約して登山したわけではなく、逆に北陸以外の方が希望日に予約、あるいは日を変更して予約して登山している(図21)。

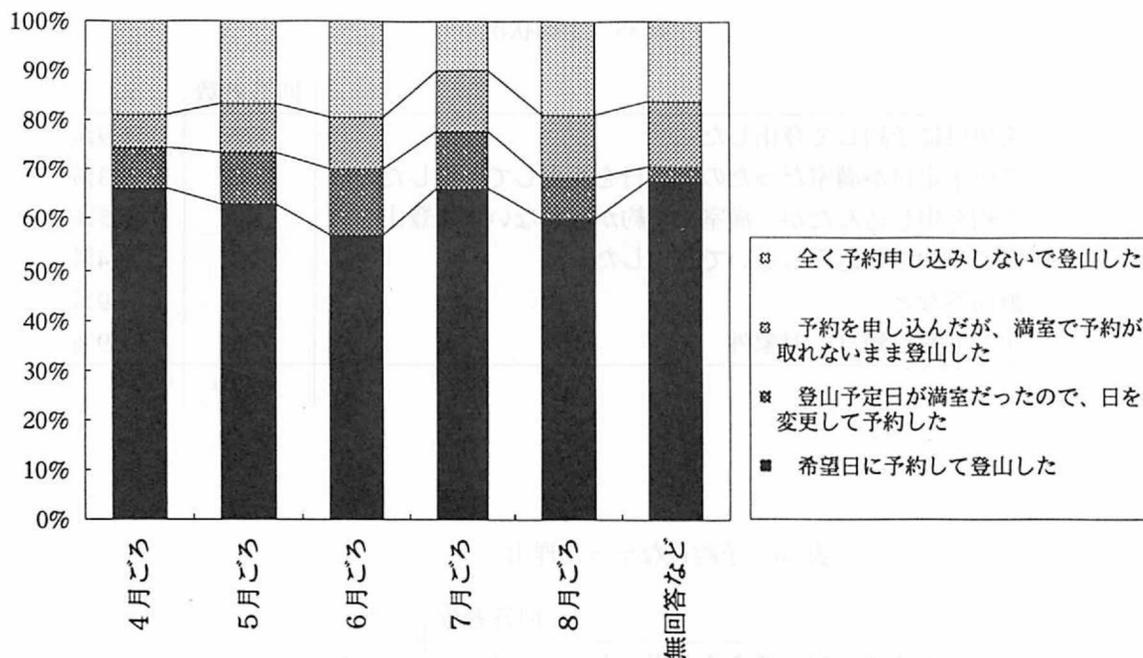


図20 予約制周知時期と予約状況

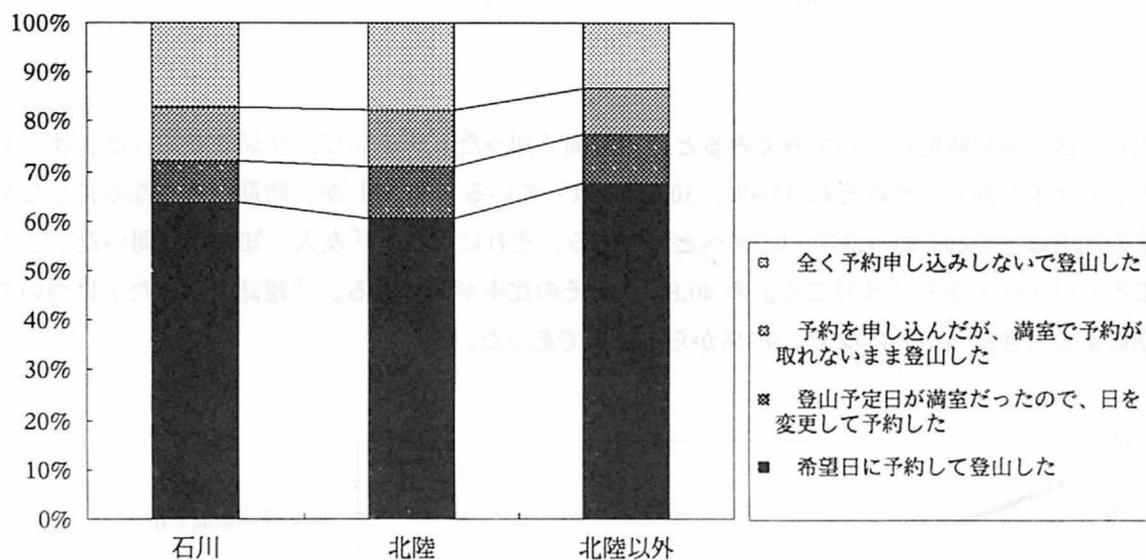


図21 地域別予約状況

全体では「希望日に予約して登山した」56.9%、「登山予定日が満室だったので、日を変更して予約した」9.3%と、予約制について知っていた人の3分の2が予約をして登山している（表35）。一方、「予約を申し込んだが、満室で予約が取れないまま登山した」9.5%、「全く予約申し込みしないで登山した」6.4%のこれらの人は予約制を知っていたにも関わらず、予約しなかった人たちで、予約しなかった理由については表36に示した。

表 35 予約状況

	回答者数	%
希望日に予約して登山した	865	56.9%
登山予定日が満室だったので、日を変更して予約した	142	9.3%
予約を申し込んだが、満室で予約が取れないまま登山した	145	9.5%
全く予約申し込みしないで登山した	97	6.4%
無回答など	150	9.9%
テントや日帰り、対象外	120	7.9%
計	1,519	—

表 36 予約しなかった理由

	回答者数	%
予約しなくても宿泊できると思った	38	39.2%
予約制度は必要ないと思った	10	10.3%
その他	30	30.9%
無回答など	19	19.6%
計	97	—

周知方法と周知時期についてみると、「新聞で知った」「テレビ、ラジオで知った」は「4月ごろ」の比率が高く、それぞれ53.9%、30.9%となっている（図22）が、時期が遅くなるにしたがってその比率は、それぞれ1.3%、0.7%へと減少する。それに対し、「友人、知人から聞いた」は「4月ごろ」は19.0%から「8月ごろ」の40.8%へとその比率が高くなる。「雑誌で知った」については時期による大きな変化はなく、9.3%から14.5%であった。

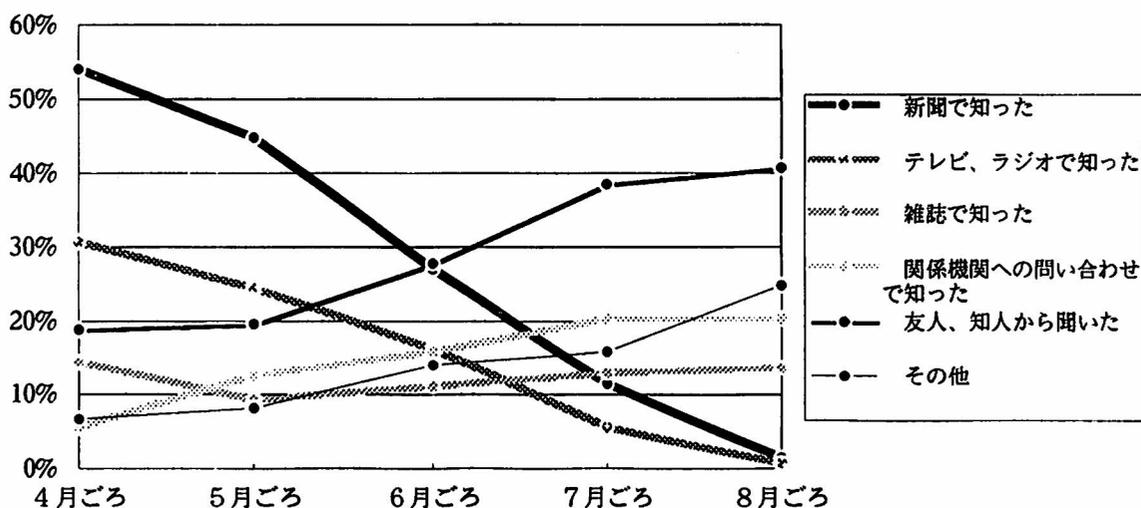


図 22 周知時期と周知方法

(4) 予約制の実施について

宿泊予約制の実施については、「必要だと思う」44.5%、「不便だが、やむを得ない」37.9%となり（表37、図23）、両者をあわせた82.4%の人が予約制の必要性を感じ、宿泊予約制の実施について理解を示している。

表37 予約制の実施について

	回答者数	%
必要だと思う	1,008	44.5%
不便だが、やむを得ない	859	37.9%
やめてほしい	236	10.4%
無回答など	161	7.1%
計	2,264	

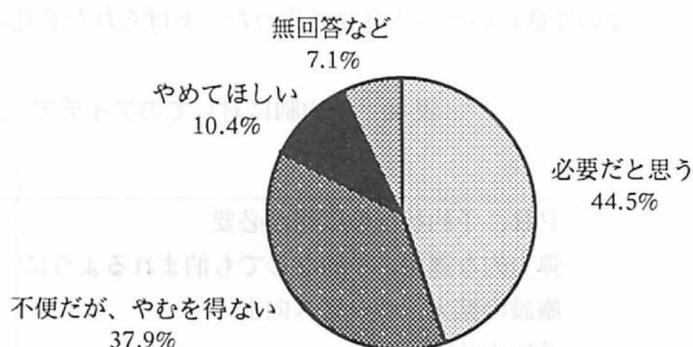


図23 予約制の実施について

このうち、年齢、登山歴別にそれぞれについて何%の人が、予約制について「やめてほしい」という意見をもっているかをみると、年齢によってちがいはみられるが「60歳～」をのぞき、「初心者」に比べ、「中級者」「ベテラン」といった登山経験があるほうが予約制に対して、反対意見をもっている（表38）。また、同様に年齢、白山登山回数別にみると、年齢によってちがいはみられるが、「はじめて」に比べ、「2回目」「3回目以上」といったリピーターのほうが予約制に対して、反対意見をもっている（表39）。

表38 年齢、登山歴別「やめてほしい」の割合

	-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-	無回答 など	全体
初心者	9.3%	4.6%	6.9%	9.4%	6.1%	10.3%	16.7%	7.7%
初心者以外	16.2%	10.1%	13.8%	14.7%	13.6%	7.9%	20.0%	13.3%

表39 年齢、白山登山回数別「やめてほしい」の割合

	-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-	無回答 など	全体
はじめて	11.8%	5.6%	1.0%	2.2%	4.5%	7.1%	15.4%	5.7%
2回目以上	16.5%	7.1%	14.0%	15.2%	13.4%	15.3%	27.3%	14.0%

(5) 予約制に対してのアイデア、意見

予約制の本格実施に向けてのアイデアや意見を聞いたところ、530人から回答が得られ、回答内容を分類したところ、表40のようになった。最も意見、希望が多かったのが、「PR、予約状況の広報が必要」という意見で、148人（回答があった人の27.9%）の人から意見があげられていた。ついで「弾力的な運用、予約なしでも泊まれるように」という意見で、山小屋の緊急避難場所的な要素を排除しないで欲しいという意見であった。あげられた意見のうち、主なものについて以下に示す。

表40 予約制に対してのアイデア、意見

	回答数	%
PR、予約状況の広報が必要	148	27.9%
弾力的な運用、予約なしでも泊まれるように	59	11.1%
施設の拡大、サービス向上	52	9.8%
予約方法	39	7.4%
電話対応、連絡体制	31	5.8%
予約者、無予約者の差別化	24	4.5%
対象期間、対象をしぼる	23	4.3%
申込先の本一化	14	2.6%
予約〆切の延長	10	1.9%
その他の規制	31	5.8%
賛成	31	5.8%
反対	42	7.9%
その他	57	10.8%
回答者数	530	

- 予約開始時期の周知。（福井 男性 44歳）
- 県外者に対してのPR不足（新聞、ラジオ、テレビ等）。（岡山 男性 45歳）
- 山向け雑誌へのPR広告、TVスポット。（石川 男性 36歳）
- 予約は当然という、意識を高める必要がある。（東京 男性 40歳）
- テレホンサービスで予約状況が分かるようになると良い。（愛知 女性 35歳）
- テレホンカードの大きさの白山の写真に、予約制度の事と予約電話番号をプリントした物を各旅行案内所及び山岳クラブへ送る。（石川 男性 48歳）
- 人数制限にもつながるためよいと思うが、自然保護のためという事をもっとアピールしてよいと思う。（石川 女性 24歳）
- 予約状況を新聞などでわかるようにしてほしい。（福井 男性 54歳）
- 何の為の予約制なのか、もう少し明確に伝えてほしい。白山の自然を守るためならやむを得ないと思うが……………。（石川 女性 30歳）
- インターネットでの予約、満室状況の確認が出来るように!!国立公園全体として国が中心となり、インターネットをやるべきだ!!（石川 男性 37歳）
- 電話での申込みでいいのですが、予約状況がわかるといいです（新聞などで電車や飛行機のように）。（石川 女性 39歳）

- 予約なしでも宿泊できることにして、予約者と宿泊スペースなどで差別する。夏場の限られた期間なので、基本的に予約なしで宿泊できるようにすべき。(石川 男性 38歳)
- 予約にはメリットをつける(料金割引、スペース確保)、飛び込みには、ペナルティをつける(料金割り増し、スペースはその時の状況により狭くなる。)(石川 男性 54歳)
- もし予約制を絶対しなければならないのなら土曜日のみ予約制にした方がいいと思う。
(石川 女性 20歳)
- 混雑する日はわかっているはずである。お盆とか週末のみ予約制を……余り不必要な規制は人を遠ざける。予約システムを柔軟に対応してほしい。(京都 男性 55歳)
- 天候や体調で予約を変更することがあるので、弾力的に運用していただきたい。(石川 男性 41歳)
- 予約制にするなら個室やグループ部屋なども設けて料金をランク別にすればよいと思う。
(神奈川 男性 43歳)
- 朝早く登るときに電話が繋がらない。(愛知 男性 13歳)
- 室堂予約の電話が一日中話し中状態だった。(福井 男性 37歳)
- 問い合わせの電話を増やしてほしい。(石川 女性 21歳)
- 予約ルートの1本化、予約センターを設ける。(滋賀 男性 48歳)
- 予約一週間前は長すぎる。2~3日前でも可としてほしい。(石川 女性 50歳)
- 公開抽選等公平な制度(ハガキ等で)。(福井 男性 44歳)
- アメリカの国立公園では、ハガキで申し込み、wilderness permit というものを事前に発行して登山規制している。大変良いシステムだと思った。(神奈川 男性 40歳)
- 予約ハガキで受付できると便利。(千葉 女性 38歳)
- シーズン中の交通規制の方が、予約制よりよいと思う。特に夜間は、平日でも規制すべき。
(福井 男性 44歳)
- 全国的に自然保護を主体とし、登山者の人数なども考えることが必要ではないか。特に国立公園ですからね。(広島 男性 58歳)
- 入山料制度はどうでしょうか?(兵庫 男性 38歳)
- 週末やお盆は料金を高くするなど、平日の利用者を増やす方向で検討されてはいかがでしょう。予約しても結局混雑するのであれば同じだと思いますが、食事の数など必要なこともあると思います。
(東京 男性 27歳)
- 自然を守るために入山者の制限は必要。(京都 男性 50歳)
- 予約制の完全実施は入山規制につながる事にもなり反対です。(岐阜 男性 41歳)
- 天候の状況等で予定も変更になり予約しにくい。誰でも気軽に登れる山にしておいてほしい。
(石川 男性 49歳)
- オーバーユースを防ぐためにも、山小屋の予約制はよいことだと思います。(神奈川 女性 52歳)
- 食事の準備や施設面積それに白山登山への志向が高まる現在、予約制はやむを得ないと思います。特に団体での登山に於いては。しかし単独のものがあつたら何とかお願いできたらと思っています。
(福井 女性 68歳)
- 大切な自然を守るためならやむを得ないと思う。これからもずっと感激できるような山であってほしい。それに携わる人達ご苦労さまです。(大阪 女性 49歳)
- 前日に申し込んだが、下ではもう締め切ったといわれたので、上に電話したらOKがでた。
(京都 男性 55歳)
- 山の場合予約した人と予約せずに上がってしまった人の扱いをどうするのか。トラブルのないようにしてほしい。(石川 男性 38歳)
- 土・日に宿泊すると混雑するのはどこの山も同じ。それは仕方ないと思っている人多い。我慢する。
(富山 女性 46歳)

8. 白山国立公園内の施設等への意見、希望

白山国立公園内の施設等への意見、希望をあげてもらったところ、775人の方から回答があり、回答内容を分類したところ、表41のようになった。最も意見、希望が多かったのが、「トイレ」で、195人（回答があった人の25.2%）の人から意見、希望があげられていた。「その他のサービス」には、「シャワー・風呂がほしい。（石川 男性 46歳）」や「禁煙室、喫煙室を分けてほしい。（岐阜 女性 20歳）」などの意見があげられていた。主な意見、希望について以下に示す。

表41 白山国立公園内の施設等への意見、希望

	回答数	%
トイレ	195	25.2%
洗面所・水場（室堂）	28	3.6%
食事、弁当	66	8.5%
寝具	37	4.8%
売店・自販機	50	6.5%
受付、対応	33	4.3%
掃除	27	3.5%
バス	18	2.3%
その他のサービス	57	7.4%
施設の改良や増	143	18.5%
登山道	43	5.5%
道標・案内板	62	8.0%
野営場	20	2.6%
このままで	58	7.5%
よかった	85	11.0%
その他	66	8.5%
回答者数	775	

- トイレが臭い、大変だとは思いますがひどく汚れない内に掃除が必要。（石川 男性 60歳）
- 別当出合の駐車場にトイレを作って欲しい。（兵庫 女性 41歳）
- 料金を取ってもよいので、トイレをきれいに（兵庫 男性 47歳）
- トイレが満パイで便器のフチまで汚物がいっぱい。ペーパーをもやすのも一つの方法では。トイレの中にドラム缶などを置いてペーパーのみ入れてもらって集めてもやす。（兵庫 女性 55歳）
- 便所の水を出して下さい。（石川 男性 52歳）
- トイレに鏡が欲しいです。（福井 女性 16歳）
- 室堂の水場、清潔にしてほしい。（東京 男性）
- 室堂の水場→もう少し広く多くあるとよい。（千葉 女性 47歳）
- 室堂、洗面所が欲しい。皆、飲料水で歯を磨いていて不潔、顔も洗いたい。（兵庫 女性 54歳）
- カレーが辛いので小さい子供が食べれなくて困った。小さい子供がたくさん登ってくる近年なので、甘口にして下さい。子供のエネルギー源が夕食なので、お願いします。（石川 女性 17歳）
- 宿泊施設について、連泊者の為にも、2日続けて同じものを出さないようにしてほしい（いつもカレーでは……もっと工夫を）。（神奈川 男性 44歳）

- アルプスなどの宿泊施設と比較すると、食事面が悪く、並んで待つのは問題有り。時間制にすべきだと思います。(静岡 女性 34歳)
- 食事は残さないように出来るように、多少選べるように出来ませんか。(愛知 女性 59歳)
- 寝具を干してほしい。(山口 女性 53歳)
- 枕を置いてほしい。(岐阜 女性 20歳)
- 毛布が少なく寒い寒い(新潟 男性 27歳)
- 室堂の売店(みやげ物など)を充実してほしい。
郵便局の営業期日を長くしてほしい。
電話の数を増やし、いつでも電話出来るようになると良い。(岐阜 男性 40歳)
- 売店に品数が少ない又売り切れが多く残念。(石川 女性 57歳)
- 施設は今のままでも十分だと思う。ただ職員の教育をもっとしっかりとしていく必要があると思う。お客様が「ああ、白山に来て良かった。」と思えるように……職員の方が白山のことを好きになる必要があると思います。(石川 女性 20歳)
- 室堂センター受付の対応が不親切でぞんざいでした。(東京 女性 50歳)
- 掃除が行き届いていない。特に室内。(静岡 女性 34歳)
- バスの便が少なく不便。白山温泉→白峰→金沢間・別当→白山温泉→白峰のローカルバスの増設
 1. 前日に温泉に行く、早朝に別当につける。
 2. 遅く下山しても白山温泉や白峰温泉に下山できる。(茨城 男性 56歳)
- 縦走用バスの運行を働きかけて欲しい。(石川 男性 49歳)
- バスの本数を増やしてほしい。(京都 男性 25歳)
- 消灯が早すぎる(石川 男性 40歳)
- 宿泊部屋は男女別をお願いしたい。予約制だから可能では。(愛知 女性 59歳)
- シャワー・風呂がほしい。(石川 男性 46歳)
- ビジターセンター等の自然解説の内容の充実。(岐阜 男性 22歳)
- 図書等置く。(岐阜 男性 44歳)
- 小屋内での禁煙を実施すべきです。他の山小屋では実施しています。(長崎 男性 49歳)
- 南竜山荘を室堂と同じく、10月のシーズン終了まで営業してほしい。(石川 男性 44歳)
- 室堂で宿泊客があまりいないのに一つの部屋につめこまれて大変だった。お客のいないときはもっとのびのびと泊めてほしい。(石川 男性 33歳)
- トイレ、食堂、宿泊棟が別棟であり、不便である。(愛媛 女性 38歳)
- 室堂の設備を改良する。各宿泊棟と受付とロビー食堂の連絡通路をつける。(石川 男性 49歳)
- 女性の更衣室をつくってほしい(施設内に)。(石川 女性 24歳)
- 部屋に吊るす物、棚などを付けてほしい。夜、ローカ、トイレなどは電気がほしいです。
(大阪 女性 59歳)
- 寝室を個室にしてほしい。(石川 男性 13歳)
- 夜宿泊者に邪魔にならないような、談話室があると良い。(岐阜 男性 41歳)
- 宿泊室に間仕切りのカーテンが欲しい。梯子の横棒が細くて足が痛い。何か工夫が欲しい。
(静岡 男性 68歳)
- 便所が遠い(廊下で連結してほしい)登山靴にはきかえるのが大変。(島根 男性 71歳)
- 小屋の各部屋の入口の戸の音がうるさい。もう少し音のでない物に出来ないか。(石川 男性 50歳)
- 雨天の場合カッパをかける工夫がほしい。(広島 男性 57歳)

- 室堂宿泊施設、2段ベッドの階段部分が、足の裏が痛いので何とかしてほしい。(静岡 女性 27歳)
- 平瀬道にて登山・下山しますが、大分道がいたんでいた。(岐阜 男性 40歳)
- 大汝登山道の整備をしてほしい。(大阪 男性 59歳)
- 急な坂、段の所に鎖・ロープ等設置。(石川 男性 53歳)
- 観光新道の下から1~3割ほどの所の急な崖、どうにか安全にならないでしょうか。岩に杭を打つなど。ぬれてでもしょうものなら、滑って危ないですし、初めて登る人はきっと砂防で登って帰りは違う道でと思い、大変な目に遭いました。私がそうでした。(石川 女性 25歳)
- 自然解説員がいなくても、観察できるような説明板などをもっと設置して欲しい。(大阪 女性 52歳)
- チブリ尾根登山口全く分からない、駐車場出たところに案内板ほしい。実際の案内板、草の陰になっている。目に飛び込んでくるのは関係者以外立入禁止の案内板がある。避難小屋までのキロ程あったら予定が立つ(日帰りのため)。(福井 男性 56歳)
- 道標をはっきり整備し、利用されていないものは撤去して下さい。何組も御宝庫のところから六地藏へ迷っていました。コースの明確な案内表示(御前峰の下り口が不明確で道に迷いました。)(東京 女性 50歳)
- 途中の標識は別当出合と室堂まで何kmとあるが、「黒ボコ岩まで」とか「中飯場まで」とかポイントまでの表示があればよいと思う。(石川 女性 40歳)
- 南竜山荘から御来光を見るために展望コースを利用して登山したが、道中に、非常に危険な場所(雪が溶けておらず、急勾配の斜面)を横切り事前に、知らせてくれるようなものがあれば、コースの選択にも役に立ったのではないかと思う。(三重 男性 26歳)
- 室堂周辺にテント場(兵庫 女性 44歳)
- 現在以上の施設はいらない。出来れば縮小か廃止してもらいたい(特に室堂周辺)。(福井 女性 56歳)
- 登山道は整備されていて、迷うことなく快適な登山が出来ました。ありがとうございました。(三重 男性 60歳)
- 標高の割に登山道が整備されているので、登りやすい。(三重 男性 26歳)
- 公園内かどうか分からないが、市ノ瀬以降の砂防建設工事による自然破壊がすさまじい。又道路横の側溝も昆虫が落ち込んだら上に上がれないようになっている。山頂だけでなく一帯の自然保全を切に希望する。(大阪 男性 41歳)
- 石鯨を使わない等、山の保護マナーの徹底。(神奈川 女性 44歳)

資料 白山国立公園利用アンケート調査票

白山国立公園利用アンケート

このアンケートは、白山国立公園を利用するみなさんのご意見をお聞きし、今後、新しい自然体験・学習の機会を広め、快適な利用をしていただくにはどうすればよいかを検討するために行うものです。
ご協力、お願いいたします。

石川県白山自然保護センター
〒920-23
石川県吉野谷村字木滑又4
TEL. 07619-5-5321

- 記入日 平成8年 月 日 天候 ()
- 記入場所
a. 市ノ瀬 b. 別当出合 c. 南竜ヶ馬場 d. 室堂
- 記入した人
(1) 性別 男 ・ 女
(2) 年齢 () 歳
(3) 住所 都道 市町
府県 村
(4) グループの人数
a. 1人 b. 2人 c. 3人 d. 4人以上 () 人
(5) (4)でb, c, dと答えた方のみお答え下さい
どなたといらっしゃるのでしょうか?
a. 友人 b. 家族 c. 職場 d. 学校
e. その他 ()
- 利用目的
(1) 市ノ瀬でご記入の方のみお答え下さい
利用目的は何ですか? (いくつでも○印をつけてかまいません)
a. 登山 f. バードウォッチング
b. キャンプ g. ドライブ
c. 温泉利用 h. サイクリング
d. 魚釣り(川遊び) i. その他 ()
e. 自然観察
(2) 別当出合、南竜ヶ馬場、室堂でご記入の方のみお答え下さい
① 登山の目的は何ですか? (いくつでも○印をつけてかまいません)
a. 自然観察
1. 高山植物 2. 火山地形・地質
3. 雄大な景色、展望 4. 動物
5. その他 ()
b. 御来光
c. 山が好き
d. 健康管理
e. 白山信仰(おまいり)
f. 教育(自己啓発)のため
g. サークル、クラブ活動として
h. その他 ()
② 登山経験
A. あなたの登山歴は?
a. 初心者 b. 中級者 c. ベテラン
B. 白山登山は
a. はじめて b. 2回目 c. 3回目以上 () 回目
- 利用期間(白山周辺での)
a. 日帰り b. 1泊 c. 2泊 d. 3泊以上 () 泊

6. 自然解説(ガイド)について

(1) 白山国立公園に自然解説員やガイドがいれば、どんなこと(場所)について案内してもらいたいですか？

(いくつでも○印をつけてかまいません)

- | | |
|----------------|---------------------|
| a. ミズバショウなどの植物 | g. 火山地形、地質 |
| b. ブナ林 | h. 化石 |
| c. 高山植物 | i. 白山の歴史・文化 |
| d. ほ乳類 | j. 白山や雄大な景色を展望できる場所 |
| e. 昆虫 | k. 溪流(川) |
| f. 鳥 | l. その他() |

(2) 案内してもらおうとすれば、どのくらいの時間がよいですか？

- | | | | |
|-------------|-------|-------|---------|
| a. 2時間 | b. 半日 | c. 1日 | d. 1泊2日 |
| e. 2泊以上(泊) | | | |

(3) 自然解説(ガイド)の料金について、どのようにお考えですか？

- | |
|-------------------------|
| a. 有料でも自然解説(ガイド)してもらいたい |
| b. 内容に応じて有料でもよい |
| c. 有料なら利用したくない |

(4) 自然を楽しむための施設やサービスなど、ご要望があればお聞かせ下さい

()

7. 夏山の宿泊予約制について

白山国立公園では、夏山登山のピーク時における宿泊施設の著しい混雑の解消と白山の自然保護と適正な利用のために、今年から白山室堂、南竜山荘において宿泊予約制を実施しています(7月1日~8月31日)
このことについて、ご意見をお聞かせ下さい

(1) 宿泊予約制の実施をご存じでしたか？

- | | |
|----------|-----------|
| a. 知っていた | b. 知らなかった |
|----------|-----------|

(2) (1)で「a.知っていた」と答えた方のみお答え下さい

①どのようにして知りましたか？

- | | |
|----------------|--------------------|
| a. 新聞で知った | d. 関係機関への問い合わせで知った |
| b. テレビ、ラジオで知った | e. 友人、知人から聞いた |
| c. 雑誌で知った | f. その他() |

②いつ頃知りましたか？

- | | | |
|---------|---------|---------|
| a. 4月ごろ | b. 5月ごろ | c. 6月ごろ |
| d. 7月ごろ | e. 8月ごろ | |

③今回の登山では予約をしましたか？

- | |
|-------------------------------|
| a. 希望日に予約して登山した |
| b. 登山予定日が満室だったので、日を変更して予約した |
| c. 予約を申し込んだが、満室で予約が取れないまま登山した |
| d. 全く予約申し込みしないで登山した |

d. の理由
・予約しなくても宿泊できると思った
・予約制度は必要ないと思った
・その他()

(3) 宿泊予約制の実施をどのように思いますか？

- | |
|----------------|
| a. 必要だと思う |
| b. 不便だが、やむを得ない |
| c. やめてほしい |

(4) 来年以降、予約制の本格実施に向けてより良い制度を考えていきたいと思っております
アイデアやご意見がありましたらお聞かせ下さい

()

8. 白山国立公園内の施設について、ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい

場所・施設 ()

内容 ()